

注3

大学番号：私立121

届出

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

武蔵野美術大学 造形構想学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武蔵野美術大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学生支援グループ市ヶ谷チーム

職名・氏名 チームリーダー・^{コウノ}河野 ^{ミヨシ}通義

電話番号 03-5206-5311

（夜間） 03-5206-5311

F A X 03-5261-3700

e-mail shinsei@musabi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

造形構想学部

<クリエイティブイノベーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

<映像学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	41
4. 既設大学等の状況	42
5. 教員組織の状況	43
6. 附帯事項等に対する履行状況等	54
7. その他全般的事項	55

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武蔵野美術大学

(2) 大学名

武蔵野美術大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒187-8505
東京都小平市小川町1-736

〒162-0843
東京都新宿区市谷田町1-4

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(テンボウ アキヒコ) 天坊 昭彦 (平成27年11月)	(シラガ ヨウヘイ) 白賀 洋平 (令和元年11月)	理事長の任期満了に伴う改選。令和元年11月17日(2)
学長	(ナガサワ タダノリ) 長澤 忠徳 (平成31年4月)		
学部長	(シノハラ ノリユキ) 篠原 規行 (平成31年4月)		
主任教授	(イノクチ ヒロミ) 井口 博美 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
造形構想学部 <small>クリエイティブイノベーション学科</small> 学士(造形構想)	美術関係	4年	76人	年次人	304人	基礎となる学部等 造形学部 デザイン情報学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	76人 (-) [-]	-	76人 (-) [-]	-	-	(-) [-]	-	(-) [-]	1.07倍	-	合格者に対してビザの確認作業を行っているため、志願者および受験者における留学生を「-」としている。
志願者数	694人 (-) [-]	(-) [-]	464人 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
受験者数	680人 (-) [-]	(-) [-]	445人 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
合格者数	171人 (-) [6人]	(-) [-]	141人 (-) [4人]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	80人 (-) [4人]	(-) [-]	84人 (-) [2人]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.10								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	80人 [4人] (-)	- [-] (-)	86人 [2人] (2人)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	令和2年度1学年の留年者のうち、1名は休学者
2年次	/		78人 [4人] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	80人 [4人] (-)		164人 [6人] (2人)		- [-] (-)		- [-] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	80 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	164 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{164} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

卒業要件及び履修方法

全学共通科目から14単位、造形構想基盤科目から18単位、専門基礎科目から37単位、専門領域別科目から11単位、専門総合科目から20単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基盤科目・専門基礎科目・専門領域別科目・専門総合科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

卒業要件及び履修方法

全学共通科目から14単位、造形構想基盤科目から18単位、専門基礎科目から37単位、専門領域別科目から11単位、専門総合科目から20単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基盤科目・専門基礎科目・専門領域別科目・専門総合科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼招
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	
全学共通科目	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2		1				
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2		1				
	歴史学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	歴史学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	歴史学Ⅲ	1・2・3・4前・後	2						兼1
	歴史学概論	1・2・3・4前・後	2						兼1
	日本古典演劇史Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	日本古典演劇史Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	古典芸能Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	古典芸能Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	社会学Ⅲ	1・2・3・4前	2						兼1
	社会学Ⅳ	1・2・3・4後	2						兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2						兼1
	法学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	法学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	情報社会倫理論	1・2・3・4前・後	2						兼1
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	数学概論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	数学概論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	幾何学概論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	幾何学概論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	基礎解析Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	基礎解析Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	自然科学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	自然科学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	宇宙の科学Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	宇宙の科学Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	現代音楽概論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	現代音楽概論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	音楽論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	音楽論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1
	文学講義1-3	1・2・3・4前	2						兼1
	文学講義1-4	1・2・3・4後	2						兼1
	健康と身体運動文化Ⅰ	1・2・3・4前・後	2						兼1
	健康と身体運動文化Ⅱ	1・2・3・4前・後	2						兼1
	健康と身体運動文化Ⅳ	1・2・3・4前・後	2			1			
	西洋美術史概説Ⅰ-1	1・2・3・4前	2						兼1
	西洋美術史概説Ⅰ-2	1・2・3・4後	2						兼1
	西洋美術史概説Ⅲ-1	1・2・3・4前	2						兼1
	西洋美術史概説Ⅵ-1	1・2・3・4前	2						兼1
	西洋美術史概説Ⅵ-2	1・2・3・4後	2						兼1
	西洋美術各論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
	西洋美術各論Ⅲ	1・2・3・4前	2						兼1
	西洋美術各論Ⅳ	1・2・3・4後	2						兼1
	日本美術史概説Ⅰ-2	1・2・3・4後	2						兼1
	日本美術史概説Ⅲ-1	1・2・3・4前	2						兼1
	日本美術史概説Ⅲ-2	1・2・3・4後	2						兼1
	日本美術各論Ⅰ-2	1・2・3・4後	2						兼1
日本美術各論Ⅵ-1	1・2・3・4前	2						兼1	
東洋美術史概説Ⅰ-1	1・2・3・4前	2						兼1	
東洋美術各論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
近代建築論Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
近代建築論Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
西洋工芸史Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
西洋工芸史Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
日本工芸史Ⅰ-1	1・2・3・4前	2						兼1	
日本工芸史Ⅰ-2	1・2・3・4後	2						兼1	
歴史学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
歴史学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
法学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
法学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
数学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
数学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
自然科学演習	1・2・3・4前・後	2						兼1	
芸能演習Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1	
芸能演習Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
社会学演習	1・2・3・4前	2						兼1	
社会学研究	1・2・3・4前・後	2						兼1	
初級英語1-1	1・2・3・4前	2						兼1	
初級英語1-2	1・2・3・4後	2						兼1	
初級英語2-1	1・2・3・4前・後	2						兼1	
初級英語4-1	1・2・3・4前	2						兼1	
初級英語4-2	1・2・3・4後	2						兼1	
中級英語1-3	1・2・3・4前	2						兼1	
中級英語1-4	1・2・3・4後	2						兼1	
中級英語4-7	1・2・3・4前	2						兼1	
中級英語4-8	1・2・3・4後	2						兼1	
中級英語11-3	1・2・3・4前	2						兼1	
中級英語11-4	1・2・3・4後	2						兼1	
上級英語1-1	1・2・3・4前・後	2						兼1	
上級英語1-3	1・2・3・4前	2						兼1	

上級英語1-4	1-2-3-4後	2								兼1
日本事情Ⅰ	1-2-3-4前	2								兼1
日本事情Ⅱ	1-2-3-4後	2								兼1
健康と身体運動文化1	1-2-3-4前	1								兼1
健康と身体運動文化2	1-2-3-4後	1								兼1
健康と身体運動文化21	1-2-3-4前	1			1					
健康と身体運動文化22	1-2-3-4後	1			1					
健康と身体運動文化35	1-2-3-4前	1			1					
健康と身体運動文化36	1-2-3-4後	1			1					
健康と身体運動文化47	1-2-3-4前	1			1					
健康と身体運動文化48	1-2-3-4後	1			1					
健康と身体運動文化89	1-2-3-4前	1								兼1
健康と身体運動文化90	1-2-3-4後	1								兼1
健康と身体運動文化91	1-2-3-4前	1								兼1
健康と身体運動文化92	1-2-3-4後	1								兼1
健康と身体運動文化演習Ⅰ	1-2-3-4前・後	2								兼1
健康と身体運動文化演習Ⅱ	1-2-3-4前・後	2								兼1
健康と身体運動文化演習Ⅲ	1-2-3-4前・後	2			1					
健康と身体運動文化演習Ⅳ	1-2-3-4前・後	2								兼1
小計(105科目)	-	0	198	0	1	1	0	0	0	兼23
造形構想基礎科目	造形実習Ⅰ	1前	2		1					兼1
	造形実習Ⅱ	1後	2		1					兼1
	造形実習Ⅲ	1後	2		1					兼2
	造形実習Ⅳ	2前	2							兼2
	映像基礎実習	2前	2		1					
	現代社会産業論Ⅰ	1前	2							
	現代社会産業論Ⅱ	1後	2		1					
	現代社会産業論Ⅲ	2前	2							兼1
	現代社会産業論Ⅳ	2後	2							兼1
	イメージングサイエンス論Ⅰ	1-2前	2							兼1
	イメージングサイエンス論Ⅱ	1-2前	2							兼1
	イメージングサイエンス論Ⅲ	1-2後	2							兼1
	イメージングアーツ論Ⅰ	1-2前	2							兼1
	イメージングアーツ論Ⅱ	1-2後	2							兼1
	イメージングアーツ論Ⅲ	1-2通	4							兼1
	小計(15科目)	-	18	14	0	3	0	0	0	0
専門基礎科目	クリエイティブイノベーション基礎実習	1前	2		4					
	クリエイティブイノベーション概論Ⅰ	1前	2		5					
	クリエイティブイノベーション概論Ⅱ	2前	2		5					
	造形演習Ⅰ	1前	2							兼2
	造形演習Ⅱ	2前	2							兼2
	造形演習Ⅲ	2後	2							兼2
	情報表現演習Ⅰ	1後	2							兼3
	情報表現演習Ⅱ	2後	2							兼2
	構成演習Ⅰ	1前	2		1					兼1
	構成演習Ⅱ	2後	2		4					
	フィールドリサーチ演習Ⅰ	1後	2		1					兼1
	フィールドリサーチ演習Ⅱ	2前	2		1					兼1
	English CommunicationⅠ	1前	2							兼3
	English CommunicationⅡ	1後	2							兼3
	English CommunicationⅢ	2前	2							兼3
	English CommunicationⅣ	2後	2							兼3
	International CommunicationⅠ	3前	1							兼2
	International CommunicationⅡ	3後	1							兼2
	キャリアイノベーション	3前	2		1					
	知的財産権基礎	3後	1							兼1
	国内フィールド演習	3-4前	2		1					
海外語学演習	3-4前	2							兼1	
インターシップ演習	3-4前	2		1						
小計(23科目)	-	37	6	0	7	0	0	0	0	兼19
専門領域別科目	クリエイティブビジネス概論	3前	1		2					
	クリエイティブテクノロジー概論	3前	1		2					
	クリエイティブヒューマンバリュー概論	3前	1		2					
	クリエイティブビジネス論Ⅰ	3-4後	1		1					
	クリエイティブビジネス論Ⅱ	3-4後	1		1					
	クリエイティブビジネス演習	4前	2		2					兼1
	クリエイティブテクノロジー論Ⅰ	3-4後	1		1					
	クリエイティブテクノロジー論Ⅱ	3-4後	1		1					兼1
	クリエイティブテクノロジー演習	4前	2		2					兼1
	クリエイティブヒューマンバリュー論Ⅰ	3-4後	1		1					
	クリエイティブヒューマンバリュー論Ⅱ	3-4後	1		1					
	クリエイティブヒューマンバリュー演習	4後	2		2					兼1
小計(12科目)	-	3	12	0	4	0	0	0	0	兼4
専門総合科目	クリエイティブイノベーション演習Ⅰ	3前	2		3					
	クリエイティブイノベーション演習Ⅱ	4前	2		3					
	産学プロジェクト実践演習Ⅰ	3前	2		1					
	産学プロジェクト実践演習Ⅱ	3後	2		1					
	産学プロジェクト実践演習Ⅲ	4前	2		1					
	産学プロジェクト実践演習Ⅳ	4後	2		1					
	クリエイティブイノベーション研究Ⅰ	3後	2		4					
	クリエイティブイノベーション研究Ⅱ	4前	2		4					
	クリエイティブイノベーション研究Ⅲ	4後	2		6					
卒業研究・論文	4後	6		6						
小計(10科目)	-	20	4	0	6					0
合計(166科目)	-	78	234	0	8	1	0	0	0	兼56
卒業要件及び履修方法										
全学共通科目から14単位、造形構想基礎科目から18単位、専門基礎科目から37単位、専門領域別科目から11単位、専門総合科目から20単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基礎科目・専門基礎科目・専門領域別科目・専門総合科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位/年間)										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・担当教員が准教授から教授に昇任したことにより「現代社会産業論Ⅱ」「構成演習Ⅰ」「フィールド実習Ⅰ」「フィールド実習Ⅱ」「インターンシップ演習」を「教授0」から「教授1」に変更。
「クリエイティブ/イノベーション基礎実習」「構成演習Ⅱ」を「教授3」から「教授4」に変更。「クリエイティブ/イノベーション研究Ⅲ」「卒業研究・論文」を「教授5」から「教授6」に変更。これらにともない「造形構想基礎科目」の小計を「教授2」から「教授3」、「専門基礎科目」の小計を「教授6」から「教授7」、「専門総合科目」の小計を「教授5」から「教授6」に変更し、専任教員配置の合計を「教授7」から「教授8」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
・専任教員の科目負担を考慮し、「心理学Ⅰ」「心理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
・「日本古典演劇Ⅰ」「日本古典演劇Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」および「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」で教員変更。
上記により「全学共通科目」の小計を「兼20」から「兼23」に変更。
・教育の質向上のため「情報表現演習Ⅰ」に兼任講師を追加し「兼2」から「兼3」に変更。これに伴い「専門基礎科目」の小計を「兼18」から「兼19」に変更。
専任教員配置の合計を「兼52」から「兼56」に変更。

【令和2年度】

・担当教員が准教授から教授に昇任したことにより「健康と身体運動文化Ⅳ」「健康と身体運動文化2Ⅰ」「健康と身体運動文化2Ⅱ」「健康と身体運動文化3Ⅴ」「健康と身体運動文化3Ⅵ」「健康と身体運動文化4Ⅶ」「健康と身体運動文化4Ⅷ」「健康と身体運動文化演習Ⅲ」を「教授0」から「教授1」に変更。
・「日本古典演劇Ⅰ」「日本古典演劇Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」および「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」で教員変更。
・「近代建築論Ⅰ」「近代建築論Ⅱ」で教員変更。
・「上級英語1-1」で教員変更。
上記により「全学共通科目」の小計を「兼22」に変更。
・教育の質向上のために新たに「Interactive Innovation-1」「Interactive Innovation-2」「Contextual Studies-1」「Contextual Studies-2」を追加開講し、教授および兼任講師を配置。これに伴い「造形構想基礎科目」の小計を「15科目」から「19科目」に変更。
・「情報表現演習Ⅰ」「情報表現演習Ⅱ」で教員変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	126 科目	0 科目	166 科目	40 科目 [0]	130 科目 [4]	科目 []	170 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

数式が入力されています。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校地売却のため (2)						
	校舎敷地	104,067.24㎡ 104,657.32㎡	0㎡	0㎡	104,067.24㎡ 104,657.32㎡							
	運動場用地	11,153㎡	0㎡	0㎡	11,153㎡							
	小 計	115,220.24㎡ 115,810.32㎡	0㎡	0㎡	115,220.24㎡ 115,810.32㎡							
	そ の 他	48,814.70㎡	0㎡	0㎡	48,814.70㎡							
	合 計	164,034.94㎡ 164,625.02㎡	0㎡	0㎡	164,034.94㎡ 164,625.02㎡							
(2) 校 舎	専 用	116,658.42㎡ 117,141.76㎡ 116,316.32㎡ (117,141.76㎡) (116,316.32㎡)	0㎡	0㎡	116,658.42㎡ 117,141.76㎡ 116,316.32㎡ (117,141.76㎡) (116,316.32㎡)	一部校地売却に伴う 校舎面積の減少(2) 造形構想学部生向けの 校舎整備(元)						
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)								
(3) 教 室 等	講 義 室	35室	演 習 室 202室 196室	実験実習室 267室	情報処理学習施設 16室 (補助職員 人)	語学学習施設 1室 (補助職員 人)	造形構想学部生向けの 校舎整備(元)					
	専 用											
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数								
	造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科			9 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体				
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕								
		造形構想学部	333,700 [108,100] (327,600 [105,800])	4,830 [935] (4,730 [925])					0 [0] (0 [0])	44,200 (42,800)	0 (0)	0 (0)
		計	333,700 [108,100] (327,600 [105,800])	4,830 [935] (4,730 [925])					0 [0] (0 [0])	44,200 (42,800)	0 (0)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館の増設(2)					
	6,302.00㎡ 6,191.50㎡		437 423		372,500 357,500							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体					
	2,961㎡		テニスコート4面 —									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体			
		教員1人当り研究費等	391千円	391千円	図書購入費	58,640千円	60,000千円	60,000千円				
	共同研究費等	12,000千円	12,000千円	設備購入費	263,570千円	263,570千円	263,570千円	大学全体				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 学費の改定(元)				
		1,899千円 1,940千円	1,598千円 1,580千円	1,598千円 1,580千円	1,598千円 1,580千円	—千円	—千円					
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金, 寄付金収入, 資産運用収入, 雑収入等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		武蔵野美術大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
												年
造形学部	4	848	3年次27	3446	学士(造形)	1.04	1.04			—		
日本画学科	4	39	0	156	学士(造形)	1.09	1.05	令和元	昭和37	東京都小平市小川町1-7-36	入学定員変更(Δ1)	
油絵学科	4	140	6	572	学士(造形)	1.06	1.05	令和元	昭和37	同上	3年次編入学定員変更(Δ6)	
彫刻学科	4	31	0	124	学士(造形)	1.06	1.06	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(Δ2)	
視覚伝達デザイン学科	4	117	4	476	学士(造形)	1.01	1.00	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(15) 3年次編入学定員変更(Δ3)	
工芸工業デザイン学科	4	120	4	488	学士(造形)	1.03	1.05	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(Δ13) 3年次編入学定員変更(Δ8)	
空間演出デザイン学科	4	108	4	440	学士(造形)	1.05	1.04	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(Δ12) 3年次編入学定員変更(Δ6)	
建築学科	4	72	3	294	学士(造形)	1.05	1.06	令和元	昭和39	同上	入学定員変更(Δ8) 3年次編入学定員変更(Δ2)	
基礎デザイン学科	4	73	3	298	学士(造形)	1.03	1.04	令和元	昭和42	同上	3年次編入学定員変更(Δ2)	
映像学科	4	—	—	—	学士(造形)	—	—	—	平成2	同上	平成31年4月学生募集停止 3年次編入学は令和3年4月学生募集停止	
芸術文化学科	4	72	3	294	学士(造形)	1.07	1.08	令和元	平成11	同上	入学定員変更(Δ8)	
デザイン情報学科	4	76	0	304	学士(造形)	1.04	1.05	令和元	平成11	同上	入学定員変更(Δ24)	
造形構想学部	4	152	3年次4	616	学士(造形構想)	1.06	1.07					
クリエイティブイノベーション学科	4	76	0	304	学士(造形構想)	1.07	1.10	—	令和元	東京都小平市小川町1-7-36 東京都板橋区谷保町1-4		
映像学科	4	76	4	312	学士(造形構想)	1.04	1.05	—	令和元	東京都小平市小川町1-7-36		
造形学部 通信教育課程	4	410	2年次70 3年次100	2,050	学士(造形)	0.40	0.40			—		
油絵学科	4	200	2年次30 3年次50	990	学士(造形)	0.44	0.34	令和元	平成14	東京都板橋区吉祥寺東町2-3-7	2年次編入学定員変更(10) 3年次編入学定員変更(Δ10)	
工芸工業デザイン学科	4	—	—	—	学士(造形)	—	—	—	平成14	同上	平成31年4月学生募集停止 2年次編入学は令和2年4月学生募集停止 3年次編入学は令和3年4月学生募集停止	
芸術文化学科	4	60	2年次10 3年次20	310	学士(造形)	0.23	0.30	令和元	平成14	同上	入学定員変更(Δ40) 3年次編入学定員変更(Δ10)	
デザイン情報学科	4	150	2年次30 3年次30	750	学士(造形)	0.54	0.45	令和元	平成14	同上	2年次編入学定員変更(15) 3年次編入学定員変更(Δ15)	
大学全体	4	1,410	2年次70 3年次131	6,112	—	0.85	0.86	—	—	—		
大学の名称		武蔵野美術大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
												年
造形研究科						1.13	1.07			—		
修士課程		95	—	190		1.13	1.08					
美術専攻(M)	2	50	—	100	修士(造形)	1.18	1.12	令和元	昭和48	東京都小平市小川町1-7-36	入学定員変更(22)	
デザイン専攻(M)	2	45	—	90	修士(造形)	1.08	1.04	令和元	昭和48	同上	入学定員変更(17)	
博士後期課程												
造形芸術専攻(D)	3	6	—	18	博士(造形)	1.11	1.00		平成16	同上		
造形構想研究科						1.66	1.48			—		
修士課程						1.66	1.48					
造形構想専攻(M)	2	35	—	70	修士(造形構想)	1.66	1.48	令和元		東京都小平市小川町1-7-36 東京都板橋区谷保町1-4		
大学院全体		136	—	278	—	1.26	1.18	—	—	—		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	准教授	荒川 歩 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)	専任	教授	荒川 歩 (42) <平成31年4月> 博士(心理学)	専任	教授	荒川 歩 (43) <平成31年4月> 博士(心理学)
	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 現代社会産業論Ⅱ クリエイティブイノベーション基礎実習 構成演習Ⅰ 構成演習Ⅱ フールド・リサーチ演習Ⅰ フールド・リサーチ演習Ⅱ イノベーション演習 クリエイティブイノベーション研究Ⅲ 卒業研究・論文			現代社会産業論Ⅱ クリエイティブイノベーション基礎実習 構成演習Ⅰ 構成演習Ⅱ フールド・リサーチ演習Ⅰ フールド・リサーチ演習Ⅱ イノベーション演習 クリエイティブイノベーション研究Ⅲ 卒業研究・論文			現代社会産業論Ⅱ クリエイティブイノベーション基礎実習 構成演習Ⅰ 構成演習Ⅱ フールド・リサーチ演習Ⅰ フールド・リサーチ演習Ⅱ イノベーション演習 クリエイティブイノベーション研究Ⅲ 卒業研究・論文	
専任	准教授	北 徹朗 (40) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	准教授	北 徹朗 (41) <平成31年4月> 博士(医学)	専任	教授	北 徹朗 (42) <平成31年4月> 博士(医学)
	健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ			健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ			健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ	
兼任	教授	相原 優子 (49) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	相原 優子 (50) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	相原 優子 (51) <平成31年4月> 文学修士※
	初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 1-3 中級英語 1-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4			初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 1-3 中級英語 1-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4			初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 1-3 中級英語 1-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4	
兼任	教授	青沼 裕之 (59) <平成31年4月> 教育学修士※	兼任	教授	青沼 裕之 (60) <平成31年4月> 教育学修士※	兼任	教授	青沼 裕之 (61) <平成31年4月> 教育学修士※
	健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅷ 9 健康と身体運動文化Ⅷ 9 0 健康と身体運動文化Ⅷ 9 1 健康と身体運動文化Ⅷ 9 2 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ			健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅷ 9 健康と身体運動文化Ⅷ 9 0 健康と身体運動文化Ⅷ 9 1 健康と身体運動文化Ⅷ 9 2 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ			健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅷ 9 健康と身体運動文化Ⅷ 9 0 健康と身体運動文化Ⅷ 9 1 健康と身体運動文化Ⅷ 9 2 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ	
兼任	教授	赤塚 祐二 (62) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	赤塚 祐二 (63) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	赤塚 祐二 (64) <平成31年4月> 芸術学修士
	造形実習Ⅰ			造形実習Ⅰ			造形実習Ⅰ	
兼任	教授	今岡 謙太郎 (54) <平成31年4月> 文学修士※				兼任	教授	今岡 謙太郎 (56) <平成31年4月> 文学修士※
	日本古典演劇史Ⅰ 日本古典演劇史Ⅱ 古典芸能Ⅰ 古典芸能Ⅱ 芸能演習Ⅰ 芸能演習Ⅱ						日本古典演劇史Ⅰ 日本古典演劇史Ⅱ 古典芸能Ⅰ 古典芸能Ⅱ 芸能演習Ⅰ 芸能演習Ⅱ	
兼任	教授	小幡 正敏 (60) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	小幡 正敏 (61) <平成31年4月> 文学修士※	兼任	教授	小幡 正敏 (62) <平成31年4月> 文学修士※
	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 社会学Ⅲ 社会学Ⅳ 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論Ⅳ			社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 社会学Ⅲ 社会学Ⅳ 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論Ⅳ			社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 社会学Ⅲ 社会学Ⅳ 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論Ⅳ	
兼任	教授	木田 拓也 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木田 拓也 (48) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木田 拓也 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
	日本工芸史Ⅰ-1 日本工芸史Ⅰ-2			日本工芸史Ⅰ-1 日本工芸史Ⅰ-2			日本工芸史Ⅰ-1 日本工芸史Ⅰ-2	
兼任	教授	北澤(小佐野)洋子 (59) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	北澤(小佐野)洋子 (60) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	北澤(小佐野)洋子 (61) <平成31年4月> 芸術学修士
	西洋美術史概説Ⅰ-1 西洋美術史概説Ⅰ-2 西洋美術史概説Ⅲ-1 西洋美術各論Ⅰ 西洋工芸史Ⅰ 西洋工芸史Ⅱ			西洋美術史概説Ⅰ-1 西洋美術史概説Ⅰ-2 西洋美術史概説Ⅲ-1 西洋美術各論Ⅰ 西洋工芸史Ⅰ 西洋工芸史Ⅱ			西洋美術史概説Ⅰ-1 西洋美術史概説Ⅰ-2 西洋美術史概説Ⅲ-1 西洋美術各論Ⅰ 西洋工芸史Ⅰ 西洋工芸史Ⅱ	
兼任	教授	志田 陽子 (56) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	教授	志田 陽子 (57) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	教授	志田 陽子 (58) <平成31年4月> 博士(法学)
	日本国憲法 法学Ⅰ 法学Ⅱ 情報社会倫理論 法学演習Ⅰ 法学演習Ⅱ			日本国憲法 法学Ⅰ 法学Ⅱ 情報社会倫理論 法学演習Ⅰ 法学演習Ⅱ			日本国憲法 法学Ⅰ 法学Ⅱ 情報社会倫理論 法学演習Ⅰ 法学演習Ⅱ	
兼任	教授	白石 美雪 (59) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	白石 美雪 (60) <平成31年4月> 芸術学修士	兼任	教授	白石 美雪 (61) <平成31年4月> 芸術学修士
	現代音楽概論Ⅰ 現代音楽概論Ⅱ 音楽論Ⅰ 音楽論Ⅱ			現代音楽概論Ⅰ 現代音楽概論Ⅱ 音楽論Ⅰ 音楽論Ⅱ			現代音楽概論Ⅰ 現代音楽概論Ⅱ 音楽論Ⅰ 音楽論Ⅱ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名
兼任	教授	田中 正之 (54) <平成31年4月> 文学修士	西洋美術史概説VI-1 西洋美術史概説VI-2 西洋美術各論III 西洋美術各論IV
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説I-2 日本美術史概説III-1 日本美術史概説III-2 日本美術各論VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (55) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習II
兼任	教授	野口 克洋 (56) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語1-1 初級英語1-2 初級英語2-1 中級英語1-3 中級英語1-4
兼任	教授	朴 亨國 (53) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論I-2 東洋美術史概説I-1 東洋美術各論II
兼任	教授	藤田 尊潮 (59) <平成31年4月> DEA(マサチューセッツ工科大学)	文学講義1-3 文学講義1-4
兼任	教授	松葉 一清 (65) <平成31年4月> 工学士(建築)	近代建築論I 近代建築論II
兼任	教授	圓山 憲子 (64) <平成31年4月> 理学博士	数学概論I 数学概論II 幾何学概論I 幾何学概論II 統計学I 統計学II 基礎解析I 基礎解析II 数学演習I 数学演習II
兼任	教授	三浦 均 (55) <平成31年4月> 理学博士	イージング'サエス論I イージング'サエス論III
兼任	教授	森 敏生 (58) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化I 健康と身体運動文化演習II
兼任	教授	廖 赤陽 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学I 歴史学II 歴史学III 歴史学概論 歴史学演習I 歴史学演習II
兼任	准教授	小澤 智子 (41) <平成31年4月> 博士(文学)	上級英語1-1
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (39) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学I 自然科学II 宇宙の科学I 宇宙の科学II 自然科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名
兼任	教授	田中 正之 (55) <平成31年4月> 文学修士	西洋美術史概説VI-1 西洋美術史概説VI-2 西洋美術各論III 西洋美術各論IV
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説I-2 日本美術史概説III-1 日本美術史概説III-2 日本美術各論VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (56) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習II
兼任	教授	野口 克洋 (57) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語1-1 初級英語1-2 初級英語2-1 中級英語1-3 中級英語1-4
兼任	教授	朴 亨國 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論I-2 東洋美術史概説I-1 東洋美術各論II
兼任	教授	藤田 尊潮 (60) <平成31年4月> DEA(マサチューセッツ工科大学)	文学講義1-3 文学講義1-4
兼任	教授	松葉 一清 (66) <平成31年4月> 工学士(建築)	近代建築論I 近代建築論II
兼任	教授	圓山 憲子 (65) <平成31年4月> 理学博士	数学概論I 数学概論II 幾何学概論I 幾何学概論II 統計学I 統計学II 基礎解析I 基礎解析II 数学演習I 数学演習II
兼任	教授	三浦 均 (56) <平成31年4月> 理学博士	イージング'サエス論I イージング'サエス論III
兼任	教授	森 敏生 (59) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化I 健康と身体運動文化演習II 健康と身体運動文化演習IV
兼任	教授	廖 赤陽 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学I 歴史学II 歴史学III 歴史学概論 歴史学演習I 歴史学演習II
兼任	教授	小澤 智子 (42) <平成31年4月> 博士(文学)	上級英語1-1
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (40) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学I 自然科学II 宇宙の科学I 宇宙の科学II 自然科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担任授業科目名
兼任	教授	田中 正之 (56) <平成31年4月> 文学修士	西洋美術史概説VI-1 西洋美術史概説VI-2 西洋美術各論III 西洋美術各論IV
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (65) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説I-2 日本美術史概説III-1 日本美術史概説III-2 日本美術各論VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (57) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習II
兼任	教授	野口 克洋 (58) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語1-1 初級英語1-2 初級英語2-1 中級英語1-3 中級英語1-4
兼任	教授	朴 亨國 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論I-2 東洋美術史概説I-1 東洋美術各論II
兼任	教授	藤田 尊潮 (61) <平成31年4月> DEA(マサチューセッツ工科大学)	文学講義1-3 文学講義1-4
兼任	教授	圓山 憲子 (66) <平成31年4月> 理学博士	数学概論I 数学概論II 幾何学概論I 幾何学概論II 統計学I 統計学II 基礎解析I 基礎解析II 数学演習I 数学演習II
兼任	教授	三浦 均 (57) <平成31年4月> 理学博士	イージング'サエス論I イージング'サエス論III
兼任	教授	森 敏生 (60) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化I 健康と身体運動文化演習II 健康と身体運動文化演習IV
兼任	教授	廖 赤陽 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学I 歴史学II 歴史学III 歴史学概論 歴史学演習I 歴史学演習II
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (41) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学I 自然科学II 宇宙の科学I 宇宙の科学II 自然科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授	准教授	三代 純平 (40) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)
		日本事情 I 日本事情 II
兼任 講師	講師	島中 実 (50) <平成31年4月> 学士(芸術)
		イメージングアート論 I イメージングアート論 II
兼任 講師	講師	橋本 典明 (57) <平成31年4月> 高校卒
		イメージングサイエンス論 II
兼任 講師	講師	菅沼 比呂志 (54) <平成31年4月> 学士(文学)
		イメージングアート論 III
兼任 講師	講師	豊嶋 康子 (50) <平成31年9月> 芸術学修士
		造形実習 III
兼任 講師	講師	森田 浩彰(浩章) (44) <平成31年9月> MA Fine Art(イギリス)
		造形実習 III
兼任 講師	講師	金田 実生 (54) <平成32年4月> 芸術学修士
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	坂口 竜太 (39) <平成32年4月> 学士(造形)
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	稲見 理 (38) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	小野 生 (36) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	石垣 貴子 (61) <平成32年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	山口 弘毅 (54) <平成32年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	藪内(藪内)新太 (42) <平成32年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	嶋津 穂高 (39) <平成32年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	小川 修一郎 (34) <平成31年9月> 修士(工学)
		情報表現演習 I 情報表現演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授	准教授	三代 純平 (41) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)
		日本事情 I 日本事情 II
兼任 講師	講師	島中 実 (51) <平成31年4月> 学士(芸術)
		イメージングアート論 I イメージングアート論 II
兼任 講師	講師	橋本 典明 (58) <平成31年4月> 高校卒
		イメージングサイエンス論 II
兼任 講師	講師	菅沼 比呂志 (55) <平成31年4月> 学士(文学)
		イメージングアート論 III
兼任 講師	講師	豊嶋 康子 (51) <令和元年9月> 芸術学修士
		造形実習 III
兼任 講師	講師	森田 浩彰(浩章) (45) <令和元年9月> MA Fine Art(イギリス)
		造形実習 III
兼任 講師	講師	金田 実生 (55) <令和2年4月> 芸術学修士
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	坂口 竜太 (40) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	稲見 理 (39) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	小野 生 (37) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	石垣 貴子 (62) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	山口 弘毅 (55) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	藪内(藪内)新太 (43) <令和2年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	嶋津 穂高 (40) <令和2年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	小川 修一郎 (35) <令和元年9月> 修士(工学)
		情報表現演習 I 情報表現演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授	准教授	三代 純平 (42) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)
		日本事情 I 日本事情 II
兼任 講師	講師	島中 実 (52) <平成31年4月> 学士(芸術)
		イメージングアート論 I イメージングアート論 II
兼任 講師	講師	橋本 典明 (59) <平成31年4月> 高校卒
		イメージングサイエンス論 II
兼任 講師	講師	菅沼 比呂志 (56) <平成31年4月> 学士(文学)
		イメージングアート論 III
兼任 講師	講師	豊嶋 康子 (52) <令和元年9月> 芸術学修士
		造形実習 III
兼任 講師	講師	森田 浩彰(浩章) (46) <令和元年9月> MA Fine Art(イギリス)
		造形実習 III
兼任 講師	講師	金田 実生 (56) <令和2年4月> 芸術学修士
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	坂口 竜太 (41) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形実習 IV
兼任 講師	講師	稲見 理 (40) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	小野 生 (38) <平成31年4月> 学士(造形)
		造形演習 I
兼任 講師	講師	石垣 貴子 (63) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	山口 弘毅 (56) <令和2年4月> 学士(造形)
		造形演習 II
兼任 講師	講師	藪内(藪内)新太 (44) <令和2年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	嶋津 穂高 (41) <令和2年9月> 学士(造形)
		造形演習 III
兼任 講師	講師	小川 修一郎 (36) <令和元年9月> 修士(工学)
		情報表現演習 I 情報表現演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	植木 基博 (36) <平成31年9月> 修士(造形)	兼任	講師	植木 基博 (37) <令和元年9月> 修士(造形)			
	情報表現演習Ⅰ 情報表現演習Ⅱ			情報表現演習Ⅰ 情報表現演習Ⅱ				
兼任	講師	牟田 季純 (34) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	牟田 季純 (35) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	牟田 季純 (36) <平成31年4月> 修士(文学)
	デジタルライティングⅠ			デジタルライティングⅠ			デジタルライティングⅠ	
兼任	講師	角山 朋子 (35) <平成31年4月> 博士(学術)						
	English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV International Communication I International Communication II							
兼任	講師	後藤 礼圭 (28) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	後藤 礼圭 (29) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	後藤 礼圭 (30) <平成31年4月> 修士(文学)
	English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV			English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV			English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV	
兼任	講師	中根 友里恵 (25) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	中根 友里恵 (26) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	中根 友里恵 (27) <平成31年4月> 修士(文学)
	English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV			English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV			English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV	
兼任	講師	菅(井田)靖子 (49) <平成32年4月> Ph. D. (イギリス)	兼任	講師	菅(井田)靖子 (50) <令和2年4月> Ph. D. (イギリス)	兼任	講師	菅(井田)靖子 (51) <令和2年4月> Ph. D. (イギリス)
	現代社会産業論Ⅲ			現代社会産業論Ⅲ			現代社会産業論Ⅲ	
兼任	講師	松本 光太郎 (45) <平成31年9月> 博士(人間環境学)						
	フィールドリサーチ演習Ⅰ							
兼任	講師	鈴木 公啓 (41) <平成32年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	鈴木 公啓 (42) <令和2年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	鈴木 公啓 (43) <令和2年4月> 博士(社会学)
	フィールドリサーチ演習Ⅱ			フィールドリサーチ演習Ⅱ			フィールドリサーチ演習Ⅱ	
兼任	講師	井登 友一 (45) <平成33年4月> 文学学士	兼任	講師	井登 友一 (46) <令和3年4月> 文学学士	兼任	講師	井登 友一 (47) <令和3年4月> 文学学士
	International Communication I			International Communication I			International Communication I	
兼任	講師	澤谷(倉井)由里子 (55) <平成33年9月> 博士(学術)	兼任	講師	澤谷(倉井)由里子 (56) <令和3年9月> 博士(学術)	兼任	講師	澤谷(倉井)由里子 (57) <令和3年9月> 博士(学術)
	International Communication II			International Communication II			International Communication II	
兼任	講師	渡邊 知子 (55) <平成33年9月> 芸術学士	兼任	講師	渡邊 知子 (56) <令和3年9月> 芸術学士	兼任	講師	渡邊 知子 (57) <令和3年9月> 芸術学士
	知的財産権基礎			知的財産権基礎			知的財産権基礎	
兼任	講師	岡部 哲也 (47) <平成34年4月> 学士(農学)	兼任	講師	岡部 哲也 (48) <令和4年4月> 学士(農学)	兼任	講師	岡部 哲也 (49) <令和4年4月> 学士(農学)
	クリエイティブビジネス演習			クリエイティブビジネス演習			クリエイティブビジネス演習	
兼任	講師	原 健司 (51) <平成34年4月> 高校卒	兼任	講師	原 健司 (52) <令和4年4月> 高校卒	兼任	講師	原 健司 (53) <令和4年4月> 高校卒
	クリエイティブテクノロジー演習			クリエイティブテクノロジー演習			クリエイティブテクノロジー演習	
兼任	講師	伊賀 聡一郎 (47) <平成34年4月> 博士(政策・メディア)	兼任	講師	伊賀 聡一郎 (48) <令和4年4月> 博士(政策・メディア)	兼任	講師	伊賀 聡一郎 (49) <令和4年4月> 博士(政策・メディア)
	クリエイティブヒューマンリソース演習			クリエイティブヒューマンリソース演習			クリエイティブヒューマンリソース演習	
兼任	講師	三田 武志 (58) <平成33年9月> 文学士	兼任	講師	三田 武志 (59) <令和3年9月> 文学士	兼任	講師	三田 武志 (60) <令和3年9月> 文学士
	クリエイティブテクノロジー論Ⅱ			クリエイティブテクノロジー論Ⅱ			クリエイティブテクノロジー論Ⅱ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	講師	林 明明 (33) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	林 明明 (34) <平成31年4月> 博士(学術)
				心理学 I			心理学 I	
			兼任	講師	塚本(白岩) 祐子 (46) <平成31年4月> 博士(社会心理学)	兼任	講師	塚本(白岩) 祐子 (47) <平成31年4月> 博士(社会心理学)
				心理学 II			心理学 II	
			兼任	講師	坂島 満 (60) <平成31年4月> 文学修士			
				日本古典演劇史 I 日本古典演劇史 II 古典芸能論 I 古典芸能論 II				
			兼任	講師	小島 智章 (48) <平成31年4月> 修士(文学)※			
				芸能演習 I 芸能演習 II				
			兼任	講師	坂本 優子 (34) <令和元年9月> 学士(造形)	兼任	講師	坂本 優子 (35) <令和元年9月> 学士(造形)
				情報表現演習 I			情報表現演習 I	
			兼任	講師	Hogan Jesse (37) <平成31年4月> 修士(美術)	兼任	講師	Hogan Jesse (38) <平成31年4月> 修士(美術)
				English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV International Communication I International Communication II			English Communication II English Communication IV International Communication I International Communication II	
			兼任	講師	白井 義穂 (35) <平成31年4月> 博士(社会心理学)	兼任	講師	白井 義穂 (36) <平成31年4月> 博士(社会心理学)
				7~8' 男子演習 I			7~8' 男子演習 I	
			兼任	講師	岡山 理香 (55) <令和2年4月> 芸術学修士			
				近代建築論 I 近代建築論 II				
			兼任	講師	入江 智朗 (31) <令和2年4月> 修士(学術)			
				上級英語 1-1				
			兼任	講師	須田 拓也 (29) <令和2年4月> 学士(芸術工学)			
				情報表現演習 I 情報表現演習 II				
			兼任	講師	Vincent Ruijters (31) <令和2年4月> 博士(美術)			
				English Communication I English Communication III				
			兼任	講師	村田(小山) 典樹 (29) <令和2年4月> M.S.(7/19)			
				Interactive Innovation-1 Interactive Innovation-2 Contextual Studies-1 Contextual Studies-2				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**履可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、美専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・荒川歩准教授および小澤智子兼担准教授が教授に昇任。
- ・荒川歩准教授の科目負担を考慮し、「心理学Ⅰ」「心理学Ⅱ」を担当科目から削除。「心理学Ⅰ」の担当教員として林明明兼任講師、「心理学Ⅱ」の担当教員として塚本(白岩)祐子兼任講師が就任。
- ・科目担当者の見直しを行い青沼裕之兼担教授の「健康と身体運動文化演習Ⅳ」を森敏生兼担教授に変更。
- ・今岡謙太郎兼担教授が研究活動のため「授業を担当しない教員」となり、「日本古典演劇Ⅰ」「日本古典演劇Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」の担当教員として飯島満兼任講師、「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」の担当教員として小島智章兼任講師が就任。
- ・教育の質向上のため「情報表現演習Ⅰ」に坂本裕子兼任講師が追加就任。
- ・角山朋子兼任講師就任辞退により、Hogan Jesse兼任講師が就任。
- ・松本光太郎兼任講師就任辞退により、白井美穂兼任講師が就任。

【令和2年度】

- ・北徹朗准教授が教授に昇任。
- ・新設科目「Interactive Innovation-1」「Interactive Innovation-2」「Contextual Studies-1」「Contextual Studies-2」の担当教員として、長澤忠徳教授と村田(小山)美樹兼任講師が就任。
- ・今岡謙太郎兼担教授が研究活動による「授業を担当しない教員」から復職。「日本古典演劇Ⅰ」「日本古典演劇Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」の担当教員として再任。
- ・小澤智子兼担教授が研究活動のため「授業を担当しない教員」となり、「上級英語1-1」の担当教員として入江哲朗兼任講師が就任。
- ・松葉一清兼担教授が死去。「近代建築論Ⅰ」「近代建築論Ⅱ」の担当教員として岡山理香兼任講師が就任。
- ・Hogan Jesse兼任講師が「English CommunicationⅠ」「English CommunicationⅢ」の就任辞退。Vincent Ruijters兼任講師が就任。
- ・植木基博兼任講師着任辞退により、須田拓也兼任講師が就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	2	0	0	9	2	9	0	0	0	9	2
(7)	(2)	(0)	(0)	(9)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
9	0	0	0	9	2	9	0	0	0	9	2
[2]	[△2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[△2]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
平成29年3月31日以前に入職した者は70歳	0	0
平成29年4月1日以降に入職した者は67歳		
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

ファカルティ・ディベロップメント（以下、FD）委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会

平成29年度 6回開催 教員の参加状況は9割以上である。

平成30年度 5回開催 教員の参加状況は9割以上である。

令和元年度 6回開催 教員の参加状況は9割以上である。

c 委員会の審議事項等

FD委員会においては、以下の事項を所掌している。

(1) FD活動の企画立案に係る事項

(2) FD活動の組織的な研修に係る事項

(3) FD活動の研究推進に係る事項

(4) FD活動の評価に係る事項

(5) FD活動の情報収集及び広報に係る事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育研究成果の報告と共有
- ・近年における学生の変化や新学部開設に伴う事項の報告と共有
- ・大学における教育内容等の改革状況の報告と共有
- ・私立大学等改革総合支援事業調査票内容の報告と共有
- ・FD推進ワークショップの報告と共有

b 実施方法

- ・全学研修会（10月）を実施
- ・FD集会（1月）を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学研修会・FD集会は、全ての教員を対象として実施し、当日参加できなかった者には、当日の資料を配付するなどして情報の共有を行っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学研修会は、年1回開催され、教員・事務職員の参加が義務付けられている。近年の学生の特徴や傾向についての理解や高等教育の動向などの理解を深め、広い視野での教授法の開発に役立っている。また、教員の教授法に関する研究成果を発表する場として、FD研修会を年1回開催し、授業改善等に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年5月から6月にかけて、各教育単位において開設する授業科目について履修をした学生への授業アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの回答については、各授業担当教員、各教育単位（学科研究室等）で集計・分析を行っており、毎年、各教育単位からの総評を主任教授が確認の上、事務局へ提出し、全体の集計結果を確認した後、各教育単位で教員へのフィードバックを行い、授業改善に役立っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨、目的

既設となる造形学部と、造形学部を基礎とする大学院造形研究科においても、その趣旨に沿う有為な人材を多く輩出しており、卒業・修了生は造形各分野の専門家としてだけでなく、幅広い業界・団体において組織人としても活躍している。それを支えているのは、教養教育と美術・デザインの専門教育を融合し、総合的な人間形成を目指す教育において育んできた「創造的思考力」であると考え。造形学部及び造形研究科でのそうした教育成果が前段で述べた現代的ニーズと合致していることを認識し、よりよい社会へ向けて「創造的思考力」を、ICT、AIなど新技術への十分なリテラシーをもって人の知情意に寄り添う力、クリエイティブな発想や思考で新しい世界を想像する力、そこから現代社会の諸問題に気づきそれを解決する力、ビジネスを変えるために創意工夫する力などに発展させ、急激な社会変動にも柔軟かつ創造的に対応できる構想力を備えた人材を育成する。そのために創立90周年となる2019年に新たに「造形構想学部」を設置した。開設初年度および2年目における設置の趣旨・目的の達成状況については設置時の計画どおり履行している。

2. 教育課程の編成

総合的な造形教育によって、観察力・鑑識力や価値判断力を涵養し、まだ見ぬものへの想像力やイメージ形成力、言語・造形言語によるコミュニケーション力及びプレゼンテーション力、発想力・柔軟性・粘り強さを身につける。そして、新たな視点からの着想と徹底した実践教育により、美術・デザイン領域を超えて、社会システムや人々の生活、思考におけるパラダイムの変革と創造的なイノベーションを行う「創造的思考力」を修得した人材を養成する。学部全体の方針に基づき、クリエイティブイノベーション学科のカリキュラムポリシーを以下のように定めている。基礎課程（1・2年次）では、造形実習・演習を中心に美術・デザインの基礎を学び、「創造的思考力」の基盤となる造形言語リテラシーを身につける。また、教養文化、言語文化、身体文化、造形文化といった各分野の広範な科目群から自由に選択履修するとともに、現代社会や産業に対する理解を深める必修科目を履修する。専門課程（3・4年次）では、基礎教育としての造形経験が問題解決プロセスとして有効であることを演習によって学ぶ。市ヶ谷キャンパスにおける産業界・地方自治体等との産学共同プロジェクト科目を必修として、「クリエイティブビジネス」「クリエイティブテクノロジー」「クリエイティブヒューマンバリュー」の3分野について実践的に学修・研究し、現代社会と未来の要請に応える創造的思考力の応用発揮を体得する。開設初年度および2年目の教育課程編成はこれらの目的に沿って設置時の計画どおり履行している。

3. 教員組織の編成

美術・デザイン分野の専門家、哲学、心理学、身体運動文化等の関連する領域の専任教員については造形学部からの転属とし、新たにデザイン（とくにサービスデザイン）分野で国際的に活躍するビジネスパーソン（実務家）やデザイン工学者、数多くの地方創生を手掛けるプロダクトデザイナーの3名の教員を採用した。教員の学位保有状況については、専任教員9名のうち4名が博士号を有しており、その他の教員についても本学科での教育研究に十分な教育研究実績、実務経験を有する教員を配置している。また、本学造形学部での実績を有する兼任教員や、本学科が求める実社会における高いレベルでの実務経験を有する兼任教員等を広く委嘱し、基礎教育と多様な領域での先進的な学びを総合的に担保している。専任教員の年齢構成については、完成年度において60歳代6名、40歳代3名とバランスが取れており、社会連携やより実践的な課題解決を目指す本学科の教育目的とも合致している。本学科では1、2年次を鷹の台キャンパスで、3、4年次を市ヶ谷キャンパスで授業を行うが、教員ごとに比重を定め、同日におけるキャンパス移動ができるだけ少なくするよう時間割設定を行っている。

4. 教育方法、履修指導方法

美術・デザイン大学として、自ら制作に取り組む実技・実習科目を重視しており、本学部においても実技・実習科目、演習科目、講義科目をバランス良く配置している。実技・実習科目は「創造的思考力」の形成に欠かせない「造形実習」及び「造形演習」、映像学科の専門科目を中心に行われる。とくに鷹の台キャンパスにおいては、アトリエ工房、演習室・スタジオ、ビデオアトリエ等の充実した施設設備を活用し、課題内容に応じて当該実習室における適切な人数をその都度設定し、事前知識のない学生でも知識・技術を十分に修得できるように配慮して授業を行う。また、修得した知識の実践的応用や課題解決能力の修得を主たる目的とする授業形態として、グループワークを中心とした演習形式の授業、いわゆるPBL（Project-Based Learning）を行う。そもそも美術・デザイン教育においては、具体的な問題や事例を取り上げ、解決に向けて学生がグループワークで主体的に考える、あるいは課題そのものを発見する試みが日常的に行われており、本学部においても、より社会的な課題の解決に主体的に取り組む姿勢や、解決のモデルのない問題に対して現実的な解決方法を粘り強く探求していく力を養成するために広く用いられる。クリエイティブイノベーション学科は映像学科とともに入学定員を76名としているが、全学共通科目については領域ごとに選択し、学生はその科目に応じた定員の範囲内で希望する科目を履修する。一部、必修の講義科目では1学年で1クラスという科目もあるが、基本的には両学科ともレベルや内容に応じたクラス編成や6～10名程度のグループワーク等の授業で、少人数教育によるアクティブラーニングを中心としている。1、2年次においては、全学共通科目、造形構想基盤科目、専門基礎科目を中心に、幅広い分野と専門学修のための基礎的な実習・講義を配当し、3、4年次における専門領域別科目、専門総合科目へと段階的に専門化・応用化していくような演習・ゼミ科目を配当している。履修指導方法については新入生に対して4月上旬に学部オリエンテーション及び履修ガイダンスを実施している。履修ガイドブックを配付した上、教育課程の編成、単位数の考え方、卒業要件等について説明する。クリエイティブイノベーション学科は3・4年次の学科別科目を市ヶ谷キャンパスで行うことから、全学共通科目及び造形学部開設履修可能科目を計画的に修得することが望ましいため、2年次の前期終了時点で3年次への進級要件である全学共通科目履修数が不足している学生については、教職員による面談を行い、履修計画の見直しと目標の再設定を行う。シラバスについては、本学部で開設する全ての科目について作成の上、web上で公表する。シラバスには担当教員、時間割、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、予習・復習の内容と方法、成績評価方法等を記載する。シラバスの作成・公表は、学生が授業内容を十分認識した上で履修計画を策定することを可能とし、また学生の事前・事後学修の指針となりうる。また、授業内容や学修方法、またシラバスに網羅されていない事項に関する相談に応じるため、全ての教員についてオフィスアワーを設定する。

5. 学生の受入れ

造形構想学部クリエイティブイノベーション学科は、入学定員76名に対して464名の出願があり、入学者数84名となり、入学定員超過率は1.10倍となった。

6. 総括評価・所見

以上のように、新設の造形構想学部クリエイティブイノベーション学科は、既設学部学科と同様に設置の趣旨・目的の達成のため適正に履行していると考えている。令和3年度以降も、引き続き取組みを継続していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布するとともに、大学webサイトにて公開予定（令和5年4月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武蔵野美術大学

(2) 大学名

武蔵野美術大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒187-8505
東京都小平市小川町1-736

〒162-0843
東京都新宿区市谷田町1-4

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(テンボウ アキヒコ) 天坊 昭彦 (平成27年11月)	(シラガ ヨウヘイ) 白賀 洋平 (令和元年11月)	理事長の任期満了に伴う改選。令和元年11月17日(2)
学長	(ナガサワ タダノリ) 長澤 忠徳 (平成31年4月)		
学部長	(シノハラ ノリユキ) 篠原 規行 (平成31年4月)		
主任教授	(イタヤ リョク) 板屋 緑 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
造形構想学部 映像学科 学士（造形構想）	美術関係	4年	76人	3年次 4人	312人	基礎となる学部等 造形学部 映像学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	76人 (-) [-]	-	76人 (-) [-]	-	-	(-) [-]	-	(-) [-]	1.05倍	-	合格者に対してビザの確認作業を行っているため、志願者および受験者における留学生を「-」としている。
志願者数	747人 (-) [-]	-	748人 (-) [-]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
受験者数	736人 (-) [-]	-	717人 (-) [-]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
合格者数	124人 (-) [7人]	-	101人 (-) [5人]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	80人 (-) [4人]	-	80人 (-) [4人]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.05								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	80人 [4人] (-)	- [-] (-)	83人 [4人] (3人)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	令和2年度1学年の留年者のうち、1名は休学者
2 年次	/		76人 [4人] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	80人 [4人] (-)		159人 [8人] (3人)		- [-] (-)		- [-] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	80 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	海外留学(1人)
令和2年度	159 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{80} = \boxed{1.25} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

専門総合科目	映像・写真表現実習Ⅰ	3後	4		6																
	映像・写真表現実習Ⅱ	4前	6		6																
	卒業制作・論文	4後	6		6																
	小計(3科目)	-	16	0	0	6															
合計(166科目)		-	36	302	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼69
卒業要件及び履修方法																					
全学共通科目から40単位、造形構想基盤必修科目から8単位、専門基礎必修科目から12単位、造形構想基盤選択科目および専門基礎選択科目から16単位、専門領域別科目から8単位、専門総合科目から16単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基盤科目・専門基礎科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。																					

専門総合科目	映像・写真表現実習Ⅰ	3後	4		6																
	映像・写真表現実習Ⅱ	4前	6		6																
	卒業制作・論文	4後	6		6																
	小計(3科目)	-	16	0	0	6															
合計(176科目)		-	36	318	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼75
卒業要件及び履修方法																					
全学共通科目から40単位、造形構想基盤必修科目から8単位、専門基礎必修科目から12単位、造形構想基盤選択科目および専門基礎選択科目から16単位、専門領域別科目から8単位、専門総合科目から16単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基盤科目・専門基礎科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。																					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	歴史学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	歴史学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	歴史学Ⅲ	1・2・3・4前・後	2								兼1
	歴史学概論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	日本古典演劇史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	日本古典演劇史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	古典芸能論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	古典芸能論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	社会学Ⅲ	1・2・3・4前	2								兼1
	社会学Ⅳ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	法学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	法学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	情報社会倫理論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	数学概論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	数学概論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	幾何学概論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	幾何学概論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	基礎解析Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	基礎解析Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	自然科学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	自然科学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	宇宙の科学Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	宇宙の科学Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	現代音楽概論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	現代音楽概論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	音楽論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	音楽論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	文学講義1-3	1・2・3・4前	2								兼1
	文学講義1-4	1・2・3・4後	2								兼1
	健康と身体運動文化Ⅰ	1・2・3・4前・後	2								兼1
	健康と身体運動文化Ⅱ	1・2・3・4前・後	2			1					
	健康と身体運動文化Ⅳ	1・2・3・4前・後	2								兼1
	西洋美術史概説Ⅰ-1	1・2・3・4前	2								兼1
	西洋美術史概説Ⅰ-2	1・2・3・4後	2								兼1
	西洋美術史概説Ⅲ-1	1・2・3・4後	2								兼1
	西洋美術史概説Ⅵ-1	1・2・3・4前	2			1					
	西洋美術史概説Ⅵ-2	1・2・3・4後	2			1					
	西洋美術各論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	西洋美術各論Ⅲ	1・2・3・4前	2			1					
	西洋美術各論Ⅳ	1・2・3・4後	2			1					
	日本美術史概説Ⅰ-2	1・2・3・4後	2								兼1
	日本美術史概説Ⅲ-1	1・2・3・4前	2								兼1
	日本美術史概説Ⅲ-2	1・2・3・4後	2								兼1
	日本美術各論Ⅰ-2	1・2・3・4後	2								兼1
	日本美術各論Ⅵ-1	1・2・3・4前	2								兼1
	東洋美術史概説Ⅰ-1	1・2・3・4前	2								兼1
	東洋美術各論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	近代建築論Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	近代建築論Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	西洋工芸史Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	西洋工芸史Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本工芸史Ⅰ-1	1・2・3・4前	2								兼1
	日本工芸史Ⅰ-2	1・2・3・4後	2								兼1
	歴史学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	歴史学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	法学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
	法学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1
	数学演習Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1
数学演習Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
自然科学演習	1・2・3・4前・後	2								兼1	
芸能演習Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
芸能演習Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	
社会学演習	1・2・3・4前	2								兼1	
社会学研究	1・2・3・4前・後	2								兼1	
初級英語1-1	1・2・3・4前	2								兼1	
初級英語1-2	1・2・3・4後	2								兼1	
初級英語2-1	1・2・3・4前・後	2								兼1	
初級英語4-1	1・2・3・4前	2								兼1	
初級英語4-2	1・2・3・4後	2								兼1	
中級英語1-3	1・2・3・4前	2								兼1	
中級英語1-4	1・2・3・4後	2								兼1	
中級英語4-7	1・2・3・4前	2								兼1	
中級英語4-8	1・2・3・4後	2								兼1	
中級英語11-3	1・2・3・4前	2								兼1	
中級英語11-4	1・2・3・4後	2								兼1	
上級英語1-1	1・2・3・4前・後	2								兼1	
上級英語1-3	1・2・3・4前	2								兼1	
上級英語1-4	1・2・3・4後	2								兼1	
日本事情Ⅰ	1・2・3・4前	2								兼1	
日本事情Ⅱ	1・2・3・4後	2								兼1	

健康と身体運動文化1	1・2・3・4前	1	1								
健康と身体運動文化2	1・2・3・4後	1	1								
健康と身体運動文化21	1・2・3・4前	1								兼1	
健康と身体運動文化22	1・2・3・4後	1								兼1	
健康と身体運動文化35	1・2・3・4前	1								兼1	
健康と身体運動文化36	1・2・3・4後	1								兼1	
健康と身体運動文化47	1・2・3・4前	1								兼1	
健康と身体運動文化48	1・2・3・4後	1								兼1	
健康と身体運動文化89	1・2・3・4前	1	1								
健康と身体運動文化90	1・2・3・4後	1	1								
健康と身体運動文化91	1・2・3・4前	1	1								
健康と身体運動文化92	1・2・3・4後	1	1								
健康と身体運動文化演習Ⅰ	1・2・3・4前・後	2	1								
健康と身体運動文化演習Ⅱ	1・2・3・4前・後	2								兼1	
健康と身体運動文化演習Ⅲ	1・2・3・4前・後	2								兼1	
健康と身体運動文化演習Ⅳ	1・2・3・4前・後	2								兼1	
小計(105科目)	—	0	198	0	2	0	0	0	0	0	兼23
造形構想基礎科目											
造形実習Ⅰ	1後	2									兼3
造形実習Ⅱ	1後	2									兼2
造形実習Ⅲ	1後	2									兼1
造形実習Ⅳ	2・4前	2									兼2
映像基礎実習	1前	2		1							兼3
現代社会産業論Ⅰ	1前	2									兼1
現代社会産業論Ⅱ	1後	2									兼1
現代社会産業論Ⅲ	2前	2									兼1
現代社会産業論Ⅳ	2後	2									兼1
イメージングサイエンス論Ⅰ	1・2・3・4前	2		1							
イメージングサイエンス論Ⅱ	1・2・3・4前	2									兼1
イメージングサイエンス論Ⅲ	1・2・3・4後	2		1							
イメージングアーツ論Ⅰ	1・2・3・4前	2									兼1
イメージングアーツ論Ⅱ	1・2・3・4後	2									兼1
イメージングアーツ論Ⅲ	1・2・3・4通	4									兼1
小計(15科目)	—	24	0	2	0	0	0	0	0	0	兼17
専門基礎科目											
映像原論	1通	2		6							兼1
映像基礎Ⅰ	1通	2		1							兼5
映像基礎Ⅱ	1通	2		2							兼1
映像基礎Ⅲ	1通	2		1							兼1
映像基礎Ⅳ	1通	2		1							兼2
デジタルドラマⅠ	2前	2		1							兼3
CG実習Ⅰ	2前・後	2		1							
CG実習Ⅱ	2後	2		1							
映像造形実習	2後	2		1							兼1
写真Ⅰ	2後	2		1							
メディアアート実習	2前・後	2		1							兼3
イメージエフェクトⅠ	2後	2		1							兼1
メディアテクノロジー実習	2後	2		1							
ディレクター実習	2後	2		2							
写真実習Ⅰ	2前	2		1							兼2
写真実習Ⅱ	2後	2		1							兼2
アニメーション実習	2前・後	2		1							兼1
メディア制作実習	2後	2		1							兼2
シナリオ制作演習	3通	2		1							兼1
ドキュメント	1・2・3・4通	2									兼1
映画史	1・2・3・4通	2									兼1
オーディオアート	1・2・3・4前	2		1							
写真テクノロジーA-I	2・3・4後	2									兼1
写真テクノロジーA-II	1・2・3・4前	2									兼1
インスタレーション研究	1・2・3・4後	2									兼1
メディアアート研究	1・2・3・4前	2									兼1
写真文化論	1・2・3・4通	4		1							
デザイン演習	1・2・3・4前	2									兼1
産官学共同プログラムⅠ	1・2・3・4通	1									兼1
産官学共同プログラムⅡ	1・2・3・4通	2									兼1
国際交流プロジェクトⅠ	1・2・3・4通	1									兼1
国際交流プロジェクトⅡ	1・2・3・4通	2									兼1
小計(32科目)	—	12	52	0	6	0	0	0	0	0	兼28
専門領域別科目											
写真Ⅱ	3前	3		1							兼1
写真Ⅲ	3前	3		1							兼1
写真Ⅳ	3後	2		1							
メディアアートⅠ	3前	2		1							兼2
メディアアートⅡ	3前	2		1							兼2
メディアアートⅢ	3後	2		1							兼2
イメージエフェクトⅡ	3後	2		1							兼1
CG&アニメーションⅠ	3前	2		2							兼1
CG&アニメーションⅡ	3前	2		2							兼2
CG&アニメーションⅢ	3後	2		2							兼1
イメージフェノメノンⅠ	3前	2		1							兼2
イメージフェノメノンⅡ	3前	2		1							兼2
モーションデザイン	3後	2		1							兼1
都市表現	3後	2		2							兼1
デジタルドラマⅡ	3前	4		1							兼2
小計(15科目)	—	0	34	0	6	0	0	0	0	0	兼15
専門総合科目											
映像・写真表現実習Ⅰ	3後	4		6							
映像・写真表現実習Ⅱ	4前	6		6							
卒業制作・論文	4後	6		6							
小計(3科目)	—	16	0	0	6						

合計(170科目)	-	28	308	0	8	0	0	0	0	兼72
卒業要件及び履修方法										
全学共通科目から40単位、造形構想基盤必修科目から8単位、専門基礎必修科目から12単位、造形構想基盤選択科目および専門基礎選択科目から16単位、専門領域別科目から8単位、専門総合科目から16単位を修得する。そのうえで、全学共通科目・造形構想基盤科目・専門基礎科目を自由選択枠として24単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・科目担当者の見直しを行い「健康と身体運動文化演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 ・「日本古典演劇史Ⅰ」「日本古典演劇史Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」「心理学Ⅰ」「心理学Ⅱ」「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」において教員変更。
 上記の結果「全学共通科目」の小計を「兼21」から「兼23」に変更。
 ・同学部クリエイティブイノベーション学科にない学生の課外活動を積極的に促すことを目的に、学外活動を単位認定する「産学共同プログラムⅠ」及び「産官学共同プログラムⅡ」を新たに開講。
 ・同学部クリエイティブイノベーション学科にない学生の短期留学を積極的に促すことを目的に、短期留学を単位認定する「国際交流プロジェクトⅠ」及び「産官学共同プログラムⅡ」を新たに開講。
 上記の結果、授業科目数の合計を「166科目」から「170科目」に変更。専任教員配置の合計を「兼69」から「兼72」に変更。

【令和2年度】

・「日本古典演劇史Ⅰ」「日本古典演劇史Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」および「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」で教員変更。
 ・「近代建築論Ⅰ」「近代建築論Ⅱ」で教員変更。
 ・「上級英語1-1」で教員変更。
 上記により「全学共通科目」の小計を「兼22」に変更。
 ・教育の質向上のために新たに「Interactive Innovation-1」「Interactive Innovation-2」「Contextual Studies-1」「Contextual Studies-2」を追加開講し、兼任教授および兼任講師を配置。これに伴い「造形構想基礎科目」の小計を「15科目」から「19科目」に変更。
 ・「映像造形実習」および「メディアアート実習」で教員変更。
 ・「ドキュメント」を「ドキュメントⅠ」に名称変更。また、教育の質向上のために「ドキュメントⅡ」を追加開講
 ・学生の分野選択を広げるために「写真文化論」（通年4単位）を廃止し、「映像・写真文化論Ⅰ」（半期2単位）および「映像・写真文化論Ⅱ」（半期2単位）を追加開講。
 上記により「専門基礎科目」の小計を「34科目」および「兼31」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	153 科目	0 科目	166 科目	13 科目 []	163 科目 [10]	0 科目 []	176 科目 [10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校地売却のため (2)			
	校舎敷地	104,067.24㎡ 104,657.32㎡	0㎡	0㎡	104,067.24㎡ 104,657.32㎡				
	運動場用地	11,153㎡	0㎡	0㎡	11,153㎡				
	小 計	115,220.24㎡ 115,810.32㎡	0㎡	0㎡	115,220.24㎡ 115,810.32㎡				
	そ の 他	48,814.70㎡	0㎡	0㎡	48,814.70㎡				
	合 計	164,034.94㎡ 164,625.02㎡	0㎡	0㎡	164,034.94㎡ 164,625.02㎡				
(2) 校 舎	専 用	116,658.42㎡ 117,141.76㎡ 116,316.32㎡ (117,141.76㎡) -(116,316.32㎡)	0㎡	0㎡	116,658.42㎡ 117,141.76㎡ 116,316.32㎡ (117,141.76㎡) -(116,316.32㎡)	一部校地売却に伴う 校舎面積の減少(2) 造形構想学部生向けの 校舎整備(元)			
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	35室	演 習 室 202室 196室	実験実習室 267室	情報処理学習施設 16室 (補助職員 人)	語学学習施設 1室 (補助職員 人)	造形構想学部生向けの 校舎整備(元)		
	専 用								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	造形構想学部 映像学科			8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	造形構想学部	333,700 [108,100] (327,600 [105,800])	4,830 [935] (4,730 [925])	0 [0] (0 [0])	44,200 (42,800)	0 (0)	0 (0)		
	計	333,700 [108,100] (327,600 [105,800])	4,830 [935] (4,730 [925])	0 [0] (0 [0])	44,200 (42,800)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 図書館の増設(2)	
	6,302.00㎡ 6,191.50㎡		437 423		372,500 357,500				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	2,961㎡		テニスコート4面 -						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	391千円	391千円	図書購入費	58,640千円	60,000千円	60,000千円	
	共同研究費等	12,000千円	12,000千円	設備購入費	263,570千円	263,570千円	263,570千円	大学全体	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 学費の改定(元)	
		1,899千円 1,940千円	1,598千円 1,580千円	1,598千円 1,580千円	1,598千円 1,580千円	-千円	-千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金, 寄付金収入, 資産運用収入, 雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 名称		武蔵野美術大学										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
												年
造形学部	4	848	3年次27	3446	学士(造形)	1.04	1.04			—		
日本画学科	4	39	0	156	学士(造形)	1.09	1.05	令和元	昭和37	東京都小平市小川町1-7-36	入学定員変更(△1)	
油絵学科	4	140	6	572	学士(造形)	1.06	1.05	令和元	昭和37	同上	3年次編入学定員変更(△6)	
彫刻学科	4	31	0	124	学士(造形)	1.06	1.06	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(△2)	
視覚伝達デザイン学科	4	117	4	476	学士(造形)	1.01	1.00	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(15) 3年次編入学定員変更(△3)	
工芸工業デザイン学科	4	120	4	488	学士(造形)	1.03	1.05	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(△13) 3年次編入学定員変更(△8)	
空間演出デザイン学科	4	108	4	440	学士(造形)	1.05	1.04	令和元	昭和37	同上	入学定員変更(△12) 3年次編入学定員変更(△6)	
建築学科	4	72	3	294	学士(造形)	1.05	1.06	令和元	昭和39	同上	入学定員変更(△8) 3年次編入学定員変更(△2)	
基礎デザイン学科	4	73	3	298	学士(造形)	1.03	1.04	令和元	昭和42	同上	3年次編入学定員変更(△2)	
映像学科	4	—	—	—	学士(造形)	—	—	—	平成2	同上	平成31年4月学生募集停止 3年次編入学は令和3年4月学生募集停止	
芸術文化学科	4	72	3	294	学士(造形)	1.07	1.08	令和元	平成11	同上	入学定員変更(△8)	
デザイン情報学科	4	76	0	304	学士(造形)	1.04	1.05	令和元	平成11	同上	入学定員変更(△24)	
造形構想学部	4	152	3年次4	616	学士(造形構想)	1.06	1.07					
クリエイティブイノベーション学科	4	76	0	304	学士(造形構想)	1.07	1.10	—	令和元	東京都小平市小川町1-7-36 東京都板橋区保町田町1-4		
映像学科	4	76	4	312	学士(造形構想)	1.04	1.05	—	令和元	東京都小平市小川町1-7-36		
造形学部 通信教育課程	4	410	2年次70 3年次100	2,050	学士(造形)	0.40	0.40			—		
油絵学科	4	200	2年次30 3年次50	990	学士(造形)	0.44	0.34	令和元	平成14	東京都板橋区吉祥寺東町2-3-7	2年次編入学定員変更(10) 3年次編入学定員変更(△10)	
工芸工業デザイン学科	4	—	—	—	学士(造形)	—	—	—	平成14	同上	平成31年4月学生募集停止 2年次編入学は令和2年4月学生募集停止 3年次編入学は令和3年4月学生募集停止	
芸術文化学科	4	60	2年次10 3年次20	310	学士(造形)	0.23	0.30	令和元	平成14	同上	入学定員変更(△40) 3年次編入学定員変更(△10)	
デザイン情報学科	4	150	2年次30 3年次30	750	学士(造形)	0.54	0.45	令和元	平成14	同上	2年次編入学定員変更(15) 3年次編入学定員変更(△15)	
大学全体	4	1,410	2年次70 3年次131	6,112	—	0.85	0.86	—	—	—		
大学 名称		武蔵野美術大学大学院										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
												年
造形研究科						1.13	1.07			—		
修士課程		95	—	190		1.13	1.08					
美術専攻(M)	2	50	—	100	修士(造形)	1.18	1.12	令和元	昭和48	東京都小平市小川町1-7-36	入学定員変更(22)	
デザイン専攻(M)	2	45	—	90	修士(造形)	1.08	1.04	令和元	昭和48	同上	入学定員変更(17)	
博士後期課程												
造形芸術専攻(D)	3	6	—	18	博士(造形)	1.11	1.00		平成16	同上		
造形構想研究科						1.66	1.48			—		
修士課程						1.66	1.48					
造形構想専攻(M)	2	35	—	70	修士(造形構想)	1.66	1.48	令和元		東京都小平市小川町1-7-36 東京都板橋区保町田町1-4		
大学院全体		136	—	278	—	1.26	1.18	—	—	—		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<造形構想学部 映像学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			
専任	教授	板屋 緑 (66)(高) <平成31年4月> 工学修士	板屋 緑 (67)(高) <平成31年4月> 工学修士	板屋 緑 (68)(高) <平成31年4月> 工学修士
	映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像造形実習 デジタル実習 イメージ制作Ⅰ イメージ制作Ⅱ 都市表現 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像造形実習 デジタル実習 イメージ制作Ⅰ イメージ制作Ⅱ 都市表現 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像造形実習 デジタル実習 イメージ制作Ⅰ イメージ制作Ⅱ 都市表現 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像造形実習 デジタル実習 イメージ制作Ⅰ イメージ制作Ⅱ 都市表現 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	黒坂 圭太 (62) <平成31年4月> 学士(造形)	黒坂 圭太 (63) <平成31年4月> 学士(造形)	黒坂 圭太 (64) <平成31年4月> 学士(造形)
	映像原論※ 映像基礎Ⅲ 7-1/2実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ モーションデザイン 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅲ 7-1/2実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ モーションデザイン 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅲ 7-1/2実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ モーションデザイン 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅲ 7-1/2実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ モーションデザイン 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	小口 詩子 (57) <平成31年4月> 文学士	小口 詩子 (58) <平成31年4月> 文学士	小口 詩子 (59) <平成31年4月> 文学士
	映像基礎実習 映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像基礎Ⅳ デジタルⅠ デジタル実習 制作制作演習 都市表現 デジタルⅡ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像基礎実習 映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像基礎Ⅳ デジタルⅠ デジタル実習 制作制作演習 都市表現 デジタルⅡ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像基礎実習 映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像基礎Ⅳ デジタルⅠ デジタル実習 制作制作演習 都市表現 デジタルⅡ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像基礎実習 映像原論※ 映像基礎Ⅱ 映像基礎Ⅳ デジタルⅠ デジタル実習 制作制作演習 都市表現 デジタルⅡ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	小林 のりお(典夫) (66) <平成31年4月> 専門学校卒	小林 のりお(典夫) (67) <平成31年4月> 専門学校卒	小林 のりお(典夫) (68) <平成31年4月> 専門学校卒
	映像原論※ 映像基礎Ⅰ 写真Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真実習Ⅱ 写真文化論 写真Ⅱ 写真Ⅲ 写真Ⅳ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅰ 写真Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真実習Ⅱ 写真文化論 写真Ⅱ 写真Ⅲ 写真Ⅳ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅰ 写真Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真実習Ⅱ 写真文化論 写真Ⅱ 写真Ⅲ 写真Ⅳ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 映像基礎Ⅰ 写真Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真実習Ⅱ 写真文化論 写真Ⅱ 写真Ⅲ 写真Ⅳ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	Christophe Charles (54) <平成31年4月> デザイン学博士	Christophe Charles (55) <平成31年4月> デザイン学博士	Christophe Charles (56) <平成31年4月> デザイン学博士
	映像原論※ 7-1/2実習 イメージⅠ 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 7-1/2実習 イメージⅠ 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 7-1/2実習 イメージⅠ 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	映像原論※ 7-1/2実習 イメージⅠ 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 7-1/2実習 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	三浦 均 (55) <平成31年4月> 理学博士	三浦 均 (56) <平成31年4月> 理学博士	三浦 均 (57) <平成31年4月> 理学博士
	イメージングサイエンス論Ⅰ イメージングサイエンス論Ⅲ 映像原論※ CG実習Ⅰ CG実習Ⅱ 制作実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	イメージングサイエンス論Ⅰ イメージングサイエンス論Ⅲ 映像原論※ CG実習Ⅰ CG実習Ⅱ 制作実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	イメージングサイエンス論Ⅰ イメージングサイエンス論Ⅲ 映像原論※ CG実習Ⅰ CG実習Ⅱ 制作実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文	イメージングサイエンス論Ⅰ イメージングサイエンス論Ⅲ 映像原論※ CG実習Ⅰ CG実習Ⅱ 制作実習 CG&7-1/2Ⅰ CG&7-1/2Ⅱ CG&7-1/2Ⅲ 映像・写真表現実習Ⅰ 映像・写真表現実習Ⅱ 卒業制作・論文
専任	教授	青沼 裕之 (59) <平成31年4月> 教育学修士※	青沼 裕之 (60) <平成31年4月> 教育学修士※	青沼 裕之 (61) <平成31年4月> 教育学修士※
	健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化2 健康と身体運動文化89 健康と身体運動文化90 健康と身体運動文化91 健康と身体運動文化92 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ	健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化2 健康と身体運動文化89 健康と身体運動文化90 健康と身体運動文化91 健康と身体運動文化92 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ	健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化2 健康と身体運動文化89 健康と身体運動文化90 健康と身体運動文化91 健康と身体運動文化92 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ	健康と身体運動文化Ⅱ 健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化2 健康と身体運動文化89 健康と身体運動文化90 健康と身体運動文化91 健康と身体運動文化92 健康と身体運動文化演習Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅳ
専任	教授	田中 正之 (54) <平成31年4月> 文学修士	田中 正之 (55) <平成31年4月> 文学修士	田中 正之 (56) <平成31年4月> 文学修士
	西洋美術史概説Ⅵ-1 西洋美術史概説Ⅵ-2 西洋美術各論Ⅲ 西洋美術各論Ⅳ	西洋美術史概説Ⅵ-1 西洋美術史概説Ⅵ-2 西洋美術各論Ⅲ 西洋美術各論Ⅳ	西洋美術史概説Ⅵ-1 西洋美術史概説Ⅵ-2 西洋美術各論Ⅲ 西洋美術各論Ⅳ	西洋美術史概説Ⅵ-1 西洋美術史概説Ⅵ-2 西洋美術各論Ⅲ 西洋美術各論Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	相原 優子 (49) <平成31年4月> 文学修士※	初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 11-3 中級英語 11-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4
兼任	教授	今岡 謙太郎 (54) <平成31年4月> 文学修士※	日本古典演劇史 I 日本古典演劇史 II 古典芸能論 I 古典芸能論 II 芸能演習 I 芸能演習 II
兼任	教授	大浦 一志 (64) <平成31年4月> 准学士	造形実習 I
兼任	教授	小幡 正敏 (60) <平成31年4月> 文学修士※	社会学 I 社会学 II 社会学 III 社会学 IV 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論 IV
兼任	教授	木田 拓也 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	日本工芸史 I-1 日本工芸史 I-2
兼任	教授	北澤(小佐野) 洋子 (53) <平成31年4月> 芸術学修士	西洋美術史概説 I-1 西洋美術史概説 I-2 西洋美術史概説 III-1 西洋美術各論 I 西洋工芸史 I 西洋工芸史 II
兼任	教授	志田 陽子 (56) <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 法学 I 法学 II 情報社会倫理論 法学演習 I 法学演習 II
兼任(学部長)	教授	篠原 規行 (58) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習 III 映像基礎実習
兼任	教授	白石 美雪 (59) <平成31年4月> 芸術学修士	現代音楽概論 I 現代音楽概論 II 音楽論 I 音楽論 II
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説 I-2 日本美術史概説 III-1 日本美術史概説 III-2 日本美術各論 VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (55) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習 II
兼任	教授	富松 保文 (58) <平成31年4月> 文学修士	哲学 I 哲学 II 現代社会産業論 I
兼任	教授	野口 克洋 (56) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語 1-1 初級英語 1-2 初級英語 2-1 中級英語 1-3 中級英語 1-4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	相原 優子 (50) <平成31年4月> 文学修士※	初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 11-3 中級英語 11-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4
兼任	教授	大浦 一志 (65) <平成31年4月> 准学士	造形実習 I
兼任	教授	小幡 正敏 (61) <平成31年4月> 文学修士※	社会学 I 社会学 II 社会学 III 社会学 IV 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論 IV
兼任	教授	木田 拓也 (48) <平成31年4月> 博士(文学)	日本工芸史 I-1 日本工芸史 I-2
兼任	教授	北澤(小佐野) 洋子 (60) <平成31年4月> 芸術学修士	西洋美術史概説 I-1 西洋美術史概説 I-2 西洋美術史概説 III-1 西洋美術各論 I 西洋工芸史 I 西洋工芸史 II
兼任	教授	志田 陽子 (57) <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 法学 I 法学 II 情報社会倫理論 法学演習 I 法学演習 II
兼任(学部長)	教授	篠原 規行 (59) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習 III 映像基礎実習 産官学共同プログラム I 産官学共同プログラム II 国際交流プロジェクト I 国際交流プロジェクト II
兼任	教授	白石 美雪 (60) <平成31年4月> 芸術学修士	現代音楽概論 I 現代音楽概論 II 音楽論 I 音楽論 II
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (64) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説 I-2 日本美術史概説 III-1 日本美術史概説 III-2 日本美術各論 VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (56) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習 II
兼任	教授	富松 保文 (59) <平成31年4月> 文学修士	哲学 I 哲学 II 現代社会産業論 I
兼任	教授	野口 克洋 (57) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語 1-1 初級英語 1-2 初級英語 2-1 中級英語 1-3 中級英語 1-4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	相原 優子 (51) <平成31年4月> 文学修士※	初級英語 4-1 初級英語 4-2 中級英語 4-7 中級英語 4-8 中級英語 11-3 中級英語 11-4 上級英語 1-3 上級英語 1-4
兼任	教授	今岡 謙太郎 (56) <平成31年4月> 文学修士※	日本古典演劇史 I 日本古典演劇史 II 古典芸能論 I 古典芸能論 II 芸能演習 I 芸能演習 II
兼任	教授	大浦 一志 (66) <平成31年4月> 准学士	造形実習 I
兼任	教授	小幡 正敏 (62) <平成31年4月> 文学修士※	社会学 I 社会学 II 社会学 III 社会学 IV 社会学演習 社会学研究 現代社会産業論 IV
兼任	教授	木田 拓也 (49) <平成31年4月> 博士(文学)	日本工芸史 I-1 日本工芸史 I-2
兼任	教授	北澤(小佐野) 洋子 (61) <平成31年4月> 芸術学修士	西洋美術史概説 I-1 西洋美術史概説 I-2 西洋美術史概説 III-1 西洋美術各論 I 西洋工芸史 I 西洋工芸史 II
兼任	教授	志田 陽子 (58) <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 法学 I 法学 II 情報社会倫理論 法学演習 I 法学演習 II
兼任(学部長)	教授	篠原 規行 (60) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習 III 映像基礎実習 産官学共同プログラム I 産官学共同プログラム II 国際交流プロジェクト I 国際交流プロジェクト II
兼任	教授	白石 美雪 (61) <平成31年4月> 芸術学修士	現代音楽概論 I 現代音楽概論 II 音楽論 I 音楽論 II
兼任	教授	玉島(寶玉) 敏子 (65) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術史概説 I-2 日本美術史概説 III-1 日本美術史概説 III-2 日本美術各論 VI-1
兼任	教授	戸田 裕介 (57) <平成31年4月> 修士(造形)	造形実習 II
兼任	教授	富松 保文 (60) <平成31年4月> 文学修士	哲学 I 哲学 II 現代社会産業論 I
兼任	教授	野口 克洋 (58) <平成31年4月> 教育学修士	初級英語 1-1 初級英語 1-2 初級英語 2-1 中級英語 1-3 中級英語 1-4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	教授	朴 亨園 (53) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論Ⅰ-2 東洋美術史概説Ⅰ-1 東洋美術各論Ⅱ
兼任	教授	原 一史 (59) <平成31年4月> 芸術学士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	藤田 尊潮 (59) <平成31年4月> DEA(77次)	文学講義Ⅰ-3 文学講義Ⅰ-4
兼任	教授	松葉 一清 (65) <平成31年4月> 工学士(建築)	近代建築論Ⅰ 近代建築論Ⅱ
兼任	教授	圓山 憲子 (64) <平成31年4月> 理学博士	数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ 幾何学概論Ⅰ 幾何学概論Ⅱ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 基礎解析Ⅰ 基礎解析Ⅱ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ
兼任	教授	森 敏生 (58) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅱ
兼任	教授	山本 靖久 (55) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	廖 赤陽 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 歴史学Ⅲ 歴史学概論 歴史学演習Ⅰ 歴史学演習Ⅱ
兼任	准教授	荒川 歩 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 現代社会産業論Ⅱ
兼任	准教授	小澤 智子 (41) <平成31年4月> 博士(文学)	上級英語Ⅰ-1
兼任	准教授	北 徹朗 (40) <平成31年4月> 博士(医学)	健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (39) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学Ⅰ 自然科学Ⅱ 宇宙の科学Ⅰ 宇宙の科学Ⅱ 自然科学演習
兼任	准教授	三代 純平 (40) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	教授	朴 亨園 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論Ⅰ-2 東洋美術史概説Ⅰ-1 東洋美術各論Ⅱ
兼任	教授	原 一史 (60) <平成31年4月> 芸術学士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	藤田 尊潮 (60) <平成31年4月> DEA(77次)	文学講義Ⅰ-3 文学講義Ⅰ-4
兼任	教授	松葉 一清 (66) <平成31年4月> 工学士(建築)	近代建築論Ⅰ 近代建築論Ⅱ
兼任	教授	圓山 憲子 (65) <平成31年4月> 理学博士	数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ 幾何学概論Ⅰ 幾何学概論Ⅱ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 基礎解析Ⅰ 基礎解析Ⅱ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ
兼任	教授	森 敏生 (59) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅱ 健康と身体運動文化演習Ⅳ
兼任	教授	山本 靖久 (56) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	廖 赤陽 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 歴史学Ⅲ 歴史学概論 歴史学演習Ⅰ 歴史学演習Ⅱ
兼任	教授	荒川 歩 (42) <平成31年4月> 博士(心理学)	現代社会産業論Ⅱ
兼任	教授	小澤 智子 (42) <平成31年4月> 博士(文学)	上級英語Ⅰ-1
兼任	准教授	北 徹朗 (41) <平成31年4月> 博士(医学)	健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (40) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学Ⅰ 自然科学Ⅱ 宇宙の科学Ⅰ 宇宙の科学Ⅱ 自然科学演習
兼任	准教授	三代 純平 (41) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
兼任	教授	朴 亨園 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	日本美術各論Ⅰ-2 東洋美術史概説Ⅰ-1 東洋美術各論Ⅱ
兼任	教授	原 一史 (61) <平成31年4月> 芸術学士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	藤田 尊潮 (61) <平成31年4月> DEA(77次)	文学講義Ⅰ-3 文学講義Ⅰ-4
兼任	教授	松葉 一清 (66) <平成31年4月> 工学士(建築)	近代建築論Ⅰ 近代建築論Ⅱ
兼任	教授	圓山 憲子 (66) <平成31年4月> 理学博士	数学概論Ⅰ 数学概論Ⅱ 幾何学概論Ⅰ 幾何学概論Ⅱ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 基礎解析Ⅰ 基礎解析Ⅱ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ
兼任	教授	森 敏生 (60) <平成31年4月> 教育学修士	健康と身体運動文化Ⅰ 健康と身体運動文化演習Ⅱ 健康と身体運動文化演習Ⅳ
兼任	教授	山本 靖久 (57) <平成31年4月> 芸術学修士	造形実習Ⅰ
兼任	教授	廖 赤陽 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 歴史学Ⅲ 歴史学概論 歴史学演習Ⅰ 歴史学演習Ⅱ
兼任	教授	荒川 歩 (43) <平成31年4月> 博士(心理学)	現代社会産業論Ⅱ
兼任	教授	小澤 智子 (42) <平成31年4月> 博士(文学)	上級英語Ⅰ-1
兼任	教授	北 徹朗 (41) <平成31年4月> 博士(医学)	健康と身体運動文化Ⅳ 健康と身体運動文化Ⅱ 1 健康と身体運動文化Ⅱ 2 健康と身体運動文化Ⅲ 5 健康と身体運動文化Ⅲ 6 健康と身体運動文化Ⅳ 7 健康と身体運動文化Ⅳ 8 健康と身体運動文化演習Ⅲ
兼任	准教授	宮原(片岡)ひろ子 (41) <平成31年4月> 博士(理学)	自然科学Ⅰ 自然科学Ⅱ 宇宙の科学Ⅰ 宇宙の科学Ⅱ 自然科学演習
兼任	准教授	三代 純平 (42) <平成31年4月> 博士(日本語教育学)	日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山本 一弥 (40) <平成31年4月> 修士(造形)
		造形実習Ⅱ
兼任	講師	橋本 典久 (44) <平成31年4月> 修士(芸術)
		映像基礎実習 ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	瀧 健太郎 (44) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像基礎実習 ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I ｼﾞﾝﾀﾞﾗ II ｼﾞﾝﾀﾞﾗ III
兼任	講師	伊藤 時男 (61) <平成31年4月> 準学士
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	松野 良則 (50) <平成31年4月> 学士(芸術)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ
兼任	講師	宮下 晃久 (48) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真ﾌﾞﾛｯｸ-A-I
兼任	講師	坂口 トモユキ(智之) (48) <平成31年4月> 修士(理学)
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	高橋 明洋 (57) <平成31年4月> 芸術学士
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅱ
兼任	講師	岡川(辰巳) 純子 (56) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅱ ｼﾞﾝﾀﾞﾗ制作実習
兼任	講師	新谷 尚之 (55) <平成31年4月> 専門学校卒
		映像基礎Ⅲ
兼任	講師	小川(飯嶋) 明日香 (44) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	根間 太作 (44) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	黒澤 誠人 (35) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像原論※
兼任	講師	岡 大地 (37) <平成32年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	鈴木 昭彦 (59) <平成32年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	青石 太郎 (28) <平成32年4月> 学士(造形)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山本 一弥 (41) <平成31年4月> 修士(造形)
		造形実習Ⅱ
兼任	講師	橋本 典久 (45) <平成31年4月> 修士(芸術)
		映像基礎実習 ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	瀧 健太郎 (45) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像基礎実習 ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I ｼﾞﾝﾀﾞﾗ II ｼﾞﾝﾀﾞﾗ III
兼任	講師	伊藤 時男 (62) <平成31年4月> 準学士
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	松野 良則 (51) <平成31年4月> 学士(芸術)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ
兼任	講師	宮下 晃久 (49) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真ﾌﾞﾛｯｸ-A-I
兼任	講師	坂口 トモユキ(智之) (49) <平成31年4月> 修士(理学)
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	高橋 明洋 (58) <平成31年4月> 芸術学士
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅱ
兼任	講師	岡川(辰巳) 純子 (57) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅱ ｼﾞﾝﾀﾞﾗ制作実習
兼任	講師	新谷 尚之 (56) <平成31年4月> 専門学校卒
		映像基礎Ⅲ
兼任	講師	小川(飯嶋) 明日香 (45) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	根間 太作 (45) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	黒澤 誠人 (36) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像原論※
兼任	講師	岡 大地 (38) <令和2年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	鈴木 昭彦 (60) <令和2年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	青石 太郎 (29) <令和2年4月> 学士(造形)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 一弥 (42) <平成31年4月> 修士(造形)
		造形実習Ⅱ
兼任	講師	橋本 典久 (46) <平成31年4月> 修士(芸術)
		映像基礎実習
兼任	講師	瀧 健太郎 (46) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像基礎実習 ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I ｼﾞﾝﾀﾞﾗ II ｼﾞﾝﾀﾞﾗ III ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I実習
兼任	講師	伊藤 時男 (63) <平成31年4月> 準学士
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	松野 良則 (52) <平成31年4月> 学士(芸術)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ
兼任	講師	宮下 晃久 (50) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅰ 写真ﾌﾞﾛｯｸ-A-I
兼任	講師	坂口 トモユキ(智之) (50) <平成31年4月> 修士(理学)
		映像基礎Ⅰ
兼任	講師	高橋 明洋 (59) <平成31年4月> 芸術学士
		映像基礎Ⅰ 写真実習Ⅱ
兼任	講師	岡川(辰巳) 純子 (58) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅱ ｼﾞﾝﾀﾞﾗ制作実習
兼任	講師	新谷 尚之 (57) <平成31年4月> 専門学校卒
		映像基礎Ⅲ
兼任	講師	小川(飯嶋) 明日香 (46) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	根間 太作 (46) <平成31年4月> 学士(造形)
		映像基礎Ⅳ
兼任	講師	黒澤 誠人 (37) <平成31年4月> 修士(造形)
		映像原論※
兼任	講師	岡 大地 (39) <令和2年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	鈴木 昭彦 (61) <令和2年4月> 修士(芸術)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I
兼任	講師	青石 太郎 (30) <令和2年4月> 学士(造形)
		ｼﾞﾝﾀﾞﾗ I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	戸塚 太郎 (42) <平成32年9月> 学士(造形)	兼任	講師	戸塚 太郎 (43) <令和2年9月> 学士(造形)			
	映像造形実習			映像造形実習				
兼任	講師	小柳 淳嗣 (36) <平成32年4月> 修士(造形)	兼任	講師	小柳 淳嗣 (37) <令和2年4月> 修士(造形)	兼任	講師	小柳 淳嗣 (38) <令和2年4月> 修士(造形)
	1st 177-I実習 1st 177-I I 1st 177-II			1st 177-I実習 1st 177-I I 1st 177-II			1st 177-I実習 1st 177-I I 1st 177-II	
兼任	講師	JOU(城之尾) 薫 (52) <平成32年4月> B. F. A(7/19)	兼任	講師	JOU(城之尾) 薫 (53) <令和2年4月> B. F. A(7/19)	兼任	講師	JOU(城之尾) 薫 (54) <令和2年4月> B. F. A(7/19)
	1st 177-I実習 1st 177-III			1st 177-I実習 1st 177-III			1st 177-III	
兼任	講師	石 茂雄 (67) <平成32年4月> 学士(理工)	兼任	講師	石 茂雄 (68) <令和2年4月> 学士(理工)	兼任	講師	石 茂雄 (69) <令和2年4月> 学士(理工)
	1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II	
兼任	講師	元木 みゆき (36) <平成32年9月> 修士(芸術表現)	兼任	講師	元木 みゆき (37) <令和2年9月> 修士(芸術表現)	兼任	講師	元木 みゆき (38) <令和2年9月> 修士(芸術表現)
	写真実習 II 写真 II			写真実習 II 写真 II			写真実習 II 写真 II	
兼任	講師	浅野(三木) 優子 (58) <平成32年4月> 学士(造形)	兼任	講師	浅野(三木) 優子 (59) <令和2年4月> 学士(造形)	兼任	講師	浅野(三木) 優子 (60) <令和2年4月> 学士(造形)
	7-1実習 CG & 7-1実習 II			7-1実習 CG & 7-1実習 II			7-1実習 CG & 7-1実習 II	
兼任	講師	栗芝 正臣 (45) <平成32年9月> 学士(造形)	兼任	講師	栗芝 正臣 (46) <令和2年9月> 学士(造形)	兼任	講師	栗芝 正臣 (47) <令和2年9月> 学士(造形)
	1st 177制作実習			1st 177制作実習			1st 177制作実習	
兼任	講師	GOTO(後藤)AKI(彰仁) (46) <平成33年4月> 学士(経済)	兼任	講師	GOTO(後藤)AKI(彰仁) (47) <令和3年4月> 学士(経済)	兼任	講師	GOTO(後藤)AKI(彰仁) (48) <令和3年4月> 学士(経済)
	写真 III			写真 III			写真 III	
兼任	講師	黒田 順子 (56) <平成33年4月> 美術学士	兼任	講師	黒田 順子 (57) <令和3年4月> 美術学士	兼任	講師	黒田 順子 (58) <令和3年4月> 美術学士
	CG & 7-1実習 I CG & 7-1実習 II			CG & 7-1実習 I CG & 7-1実習 II			CG & 7-1実習 I CG & 7-1実習 II	
兼任	講師	原田 浩 (55) <平成33年9月> 専門学校卒	兼任	講師	原田 浩 (56) <令和3年9月> 専門学校卒	兼任	講師	原田 浩 (57) <令和3年9月> 専門学校卒
	CG & 7-1実習 III			CG & 7-1実習 III			CG & 7-1実習 III	
兼任	講師	野村 叔子 (36) <平成33年4月> 修士(造形)	兼任	講師	野村 叔子 (37) <令和3年4月> 修士(造形)	兼任	講師	野村 叔子 (38) <令和3年4月> 修士(造形)
	1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II	
兼任	講師	坂元 祐介 (34) <平成33年4月> 修士(造形)	兼任	講師	坂元 祐介 (35) <令和3年4月> 修士(造形)	兼任	講師	坂元 祐介 (36) <令和3年4月> 修士(造形)
	1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II			1st 177-I 1st 177-II	
兼任	講師	山崎 達基 (33) <平成33年9月> 学士(造形)	兼任	講師	山崎 達基 (34) <令和3年9月> 学士(造形)	兼任	講師	山崎 達基 (35) <令和3年9月> 学士(造形)
	モーションデザイン			モーションデザイン			モーションデザイン 映像造形実習	
兼任	講師	橋本 直明 (50) <平成33年9月> 修士(工学)	兼任	講師	橋本 直明 (51) <令和3年9月> 修士(工学)	兼任	講師	橋本 直明 (52) <令和3年9月> 修士(工学)
	都市表現			都市表現			都市表現	
兼任	講師	山倉 一樹 (33) <平成33年4月> 学士(造形)	兼任	講師	山倉 一樹 (34) <令和3年4月> 学士(造形)	兼任	講師	山倉 一樹 (35) <令和3年4月> 学士(造形)
	デジタルII			デジタルII			デジタルII	
兼任	講師	大田 晃 (36) <平成33年4月> 修士(造形)	兼任	講師	大田 晃 (37) <令和3年4月> 修士(造形)	兼任	講師	大田 晃 (38) <令和3年4月> 修士(造形)
	デジタルII			デジタルII			デジタルII	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	内館 牧子 (69) <平成33年4月> 修士(文学)						
	ナリ制作演習							
兼任	講師	藤田 純夫 (60) <平成31年4月> 学士(経済)	兼任	講師	藤田 純夫 (61) <平成31年4月> 学士(経済)	兼任	講師	藤田 純夫 (62) <平成31年4月> 学士(経済)
	ドキュメント			ドキュメント			ドキュメントⅠ ドキュメントⅡ	
兼任	講師	畠中 実 (50) <平成31年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	畠中 実 (51) <平成31年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	畠中 実 (52) <平成31年4月> 学士(芸術)
	イメージング理論Ⅰ イメージング理論Ⅱ イラストレーション研究 デザイン研究			イメージング理論Ⅰ イメージング理論Ⅱ イラストレーション研究 デザイン研究			イメージング理論Ⅰ イメージング理論Ⅱ イラストレーション研究 デザイン研究	
兼任	講師	濱口 幸一 (59) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	濱口 幸一 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	濱口 幸一 (61) <平成31年4月> 文学修士
	映画史			映画史			映画史	
兼任	講師	橋本 典明 (57) <平成31年4月> 高校卒	兼任	講師	橋本 典明 (58) <平成31年4月> 高校卒	兼任	講師	橋本 典明 (59) <平成31年4月> 高校卒
	イメージング理論Ⅱ			イメージング理論Ⅱ			イメージング理論Ⅱ	
兼任	講師	菅沼 比呂志 (54) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	菅沼 比呂志 (55) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	菅沼 比呂志 (56) <平成31年4月> 学士(文学)
	イメージング理論Ⅲ			イメージング理論Ⅲ			イメージング理論Ⅲ	
兼任	講師	金房 邦彦 (55) <平成31年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	金房 邦彦 (60) <平成31年4月> 学士(芸術)	兼任	講師	金房 邦彦 (61) <平成31年4月> 学士(芸術)
	写真制作/A-Ⅱ			写真制作/A-Ⅱ			写真制作/A-Ⅱ	
兼任	講師	竹中 義明 (56) <平成31年4月> 修士(造形)	兼任	講師	竹中 義明 (57) <平成31年4月> 修士(造形)	兼任	講師	竹中 義明 (58) <平成31年4月> 修士(造形)
	デザイン演習			デザイン演習			デザイン演習	
兼任	講師	金田 実生 (54) <平成32年4月> 芸術学修士	兼任	講師	金田 実生 (55) <令和2年4月> 芸術学修士	兼任	講師	金田 実生 (56) <令和2年4月> 芸術学修士
	造形実習Ⅳ			造形実習Ⅳ			造形実習Ⅳ	
兼任	講師	坂口 竜太 (39) <平成32年4月> 学士(造形)	兼任	講師	坂口 竜太 (40) <令和2年4月> 学士(造形)	兼任	講師	坂口 竜太 (41) <令和2年4月> 学士(造形)
	造形実習Ⅳ			造形実習Ⅳ			造形実習Ⅳ	
兼任	講師	菅(井田)靖子 (49) <平成32年4月> Ph. D. (イギリス)	兼任	講師	菅(井田)靖子 (50) <令和2年4月> Ph. D. (イギリス)	兼任	講師	菅(井田)靖子 (51) <令和2年4月> Ph. D. (イギリス)
	現代社会産業論Ⅲ			現代社会産業論Ⅲ			現代社会産業論Ⅲ	
			兼任	講師	林 明明 (33) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	林 明明 (34) <平成31年4月> 博士(学術)
				心理学Ⅰ			心理学Ⅰ	
			兼任	講師	塚本(白岩)祐子 (46) <平成31年4月> 博士(社会心理学)	兼任	講師	塚本(白岩)祐子 (47) <平成31年4月> 博士(社会心理学)
				心理学Ⅱ			心理学Ⅱ	
			兼任	講師	飯島 満 (60) <平成31年4月> 文学修士			
				日本古典演劇史Ⅰ 日本古典演劇史Ⅱ 古典芸能論Ⅰ 古典芸能論Ⅱ				
			兼任	講師	小島 智章 (48) <平成31年4月> 修士(文学)※			
				芸能演習Ⅰ 芸能演習Ⅱ				
			兼任	講師	安倍 龍雄(龍男) (58) <令和3年4月> 高校卒	兼任	講師	安倍 龍雄(龍男) (59) <令和3年4月> 高校卒
				ナリ制作演習			ナリ制作演習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名		
兼任	講師	岡山 理香 (55) <令和2年4月> 芸術学修士					
		近代建築論Ⅰ 近代建築論Ⅱ					
兼任	講師	入江 哲朗 (31) <令和2年4月> 修士(学術)					
		上級英語1-1					
兼担	教授	長瀬 忠徳 (68) <令和2年4月> M.A.(ｲｷﾞｽ)					
		Interactive Innovation-1 Interactive Innovation-2 Contextual Studies-1 Contextual Studies-2					
兼任	講師	村田(小山) 美樹 (29) <令和2年4月> M.S.(7/19)					
		Interactive Innovation-1 Interactive Innovation-2 Contextual Studies-1 Contextual Studies-2					
兼任	講師	鈴木(舟田) 美輪子 (50) <令和2年4月> 学士(造形)					
		ｲﾝﾀﾞﾈｲｼﾞｱ-1実習					
兼任	講師	鳥原 学 (54) <令和2年4月> 商学士					
		映像・写真文化論Ⅰ 映像・写真文化論Ⅱ					
兼任	講師	笠間 悠貴 (30) <令和2年4月> 学術修士					
		映像・写真文化論Ⅰ 映像・写真文化論Ⅱ					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、美専、実(研)、実(美)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・科目担当者の見直しを行い青沼裕之教授の「健康と身体運動文化演習Ⅳ」を森敏生兼任教授に変更。
- ・今岡謙太郎兼任教授が研究活動のため「授業を担当しない教員」となり、「日本古典演劇史Ⅰ」「日本古典演劇史Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」の担当教員として飯島満兼任講師、「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」の担当教員として小島智章兼任講師が就任。
- ・篠原規行兼任教授の担当科目に「産学共同プログラムⅠ」「産官学共同プログラムⅡ」「国際交流プロジェクトⅠ」及び「産官学共同プログラムⅡ」を追加。
- ・荒川歩兼任教授および小澤智子兼任教授が教授に昇任。
- ・荒川歩兼任教授の科目負担を考慮し、「心理学Ⅰ」「心理学Ⅱ」を担当科目から削除。「心理学Ⅰ」の担当教員として林明明兼任講師、「心理学Ⅱ」の担当教員として塚本(白岩)祐子兼任講師が就任。
- ・内館牧子兼任講師の就任辞退により、安倍照雄(照男)兼任講師が就任。

【令和2年度】

- ・北徹朗兼任教授および山本一弥兼任教授が教授に昇任。
- ・新設科目「Interactive Innovation-1」「Interactive Innovation-2」「Contextual Studies-1」「Contextual Studies-2」の担当教員として、長澤忠徳兼任教授と村田(小山)美樹兼任講師が就任。
- ・今岡謙太郎兼任教授が研究活動による「授業を担当しない教員」から復職。「日本古典演劇史Ⅰ」「日本古典演劇史Ⅱ」「古典芸能論Ⅰ」「古典芸能論Ⅱ」「芸能演習Ⅰ」「芸能演習Ⅱ」の担当教員として再任。
- ・小澤智子兼任教授が研究活動のため「授業を担当しない教員」となり、「上級英語1-1」の担当教員として入江哲朗兼任講師が就任。
- ・松葉一清兼任教授が死去。「近代建築論Ⅰ」「近代建築論Ⅱ」の担当教員として岡山理香兼任講師が就任。
- ・「映像造形実習」において、戸塚太郎兼任講師就任辞退により、山崎連基兼任講師が就任。
- ・「メディアアート実習」において、橋本典久兼任講師およびJOU(城の尾)薫兼任講師就任辞退により、鈴木(斉田)英倫子兼任講師および瀧健太郎兼任講師が就任。
- ・「ドキュメント」を「ドキュメントⅠ」に名称変更。また、教育の質向上のために「ドキュメントⅡ」を追加開講。藤田純夫兼任講師が就任。
- ・学生の方針選択を広げるために「写真文化論」(通年4単位)を廃止し、「映像・写真文化論Ⅰ」(半期2単位)および「映像・写真文化論Ⅱ」(半期2単位)を追加開講。担当教員としてそれぞれに鳥原学兼任講師および笠間悠貴兼任講師が就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	0	0	0	8	3	8	0	0	0	8	3
(8)	(0)	(0)	(0)	(8)	(3)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	0	0	0	8	3	8	0	0	0	8	3
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
平成29年3月31日以前に入職した者は70歳	0	1
平成29年4月1日以降に入職した者は67歳		
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<造形構想学部 映像学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

ファカルティ・ディベロップメント（以下、FD）委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会

平成29年度 6回開催 教員の参加状況は9割以上である。

平成30年度 5回開催 教員の参加状況は9割以上である。

令和元年度 6回開催 教員の参加状況は9割以上である。

c 委員会の審議事項等

FD委員会においては、以下の事項を所掌している。

(1) FD活動の企画立案に係る事項

(2) FD活動の組織的な研修に係る事項

(3) FD活動の研究推進に係る事項

(4) FD活動の評価に係る事項

(5) FD活動の情報収集及び広報に係る事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育研究成果の報告と共有
- ・近年における学生の変化や新学部開設に伴う事項の報告と共有
- ・大学における教育内容等の改革状況の報告と共有
- ・私立大学等改革総合支援事業調査票内容の報告と共有
- ・FD推進ワークショップの報告と共有

b 実施方法

- ・全学研修会（10月）を実施
- ・FD集会（1月）を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学研修会・FD集会は、全ての教員を対象として実施し、当日参加できなかった者には、当日の資料を配付するなどして情報の共有を行っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学研修会は、年1回開催され、教員・事務職員の参加が義務付けられている。近年の学生の特徴や傾向についての理解や高等教育の動向などの理解を深め、広い視野での教授法の開発に役立っている。また、教員の教授法に関する研究成果を発表する場として、FD研修会を年1回開催し、授業改善等に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年5月から6月にかけて、各教育単位において開設する授業科目について履修をした学生への授業アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの回答については、各授業担当教員、各教育単位（学科研究室等）で集計・分析を行っており、毎年、各教育単位からの総評を主任教授が確認の上、事務局へ提出し、全体の集計結果を確認した後、各教育単位で教員へのフィードバックを行い、授業改善に役立っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨、目的

既設となる造形学部と、造形学部を基礎とする大学院造形研究科においても、その趣旨に沿う有為な人材を多く輩出しており、卒業・修了生は造形各分野の専門家としてだけでなく、幅広い業界・団体において組織人としても活躍している。それを支えているのは、教養教育と美術・デザインの専門教育を融合し、総合的な人間形成を目指す教育において育んできた「創造的思考力」であると考えられる。造形学部及び造形研究科でのそうした教育成果が前段で述べた現代的ニーズと合致していることを認識し、よりよい社会へ向けて「創造的思考力」を、ICT、AIなど新技術への十分なりテラシーをもって人の知情意に寄り添う力、クリエイティブな発想や思考で新しい世界を想像する力、そこから現代社会の諸問題に気づきそれを解決する力、ビジネスを変えるために創意工夫する力などに発展させ、急激な社会変動にも柔軟かつ創造的に対応できる構想力を備えた人材を育成する。そのために創立90周年となる2019年に新たに「造形構想学部」を設置した。開設初年度および2年目における設置の趣旨・目的の達成状況については設置時の計画どおり履行している。

2. 教育課程の編成

総合的な造形教育によって、観察力・鑑識力や価値判断力を涵養し、まだ見ぬものへの想像力やイメージ形成力、言語・造形言語によるコミュニケーション力及びプレゼンテーション力、発想力・柔軟性・粘り強さを身につける。そして、新たな視点からの着想と徹底した実践教育により、美術・デザイン領域を超えて、社会システムや人々の生活、思考におけるパラダイムの変革と創造的なイノベーションを行う「創造的思考力」を修得した人材を養成する。学部全体の方針に基づき、映像学科のカリキュラムポリシーを以下のように定めている。映像学科は、真実を見つめる強い意志の向上を図り、自由かつ大胆な創造的感性を磨き、表現する者としての眼を育み、美意識を涵養することを目的としたカリキュラムを実践している。それは映像表現の総合性を感得して、真の専門性を獲得するための全方向的カリキュラムであり、作品制作と制作指導が教育の基柱となる。本学科は「映像文化」が言語を超え、国境を超え、民族・宗教をも超えられる「存在」であると考えており、全学共通科目で学んだ知識や教養を表現行為や行動に変え、変化する世界の社会状況に、自ら確信をもって対応できる文化創造の担い手となる、映像の真の表現者・理解者を育成する。

3. 教員組織の編成

すでに教育研究実績を有する造形学部映像学科から転属する専任教員を中心に、写真、ドラマ・映画、イメージフェノメナン、CG&アニメーション、メディアアートといった領域別の専門家を配置し、総合的な映像教育を行う構成となっている。教員の学位保有状況については、専任教員8名のうち2名が博士号を有しており、その他の教員についても本学科での教育研究に十分な教育研究実績、実務歴を有する教員を配置している。また、本学造形学部での実績を有する兼任教員や、本学科が求める実社会における高いレベルでの実務歴を有する兼任教員等を広く委嘱し、基礎教育と多様な領域での先進的な学びを総合的に担保している。専任教員の年齢構成については、完成年度において70歳代2名、60歳代4名、50歳代2名となっている。これは、全方向的な教育により映像の表現者と理解者を育てる、という学科の教育目標を鑑み、豊富な実績と経験を有する教員を中心に配置した結果であり、30代、40代で頭角を現している新進気鋭のクリエイター・表現者、研究者を兼任教員として積極的に配置することでバランスの取れた教員構成となっている。

4. 教育方法、履修指導方法

美術・デザイン大学として、自ら制作に取り組む実技・実習科目を重視しており、本学部においても実技・実習科目、演習科目、講義科目をバランス良く配置している。実技・実習科目は「創造的思考力」の形成に欠かせない「造形実習」及び「造形演習」、映像学科の専門科目を中心に行われる。とくに鷹の台キャンパスにおいては、アトリエ・工房、演習室・スタジオ、ビデオアトリエ等の充実した施設設備を活用し、課題内容に応じて当該実習室における適切な人数をその都度設定し、事前知識のない学生でも知識・技術を十分に修得できるように配慮して授業を行う。また、修得した知識の実践的応用や課題解決能力の修得を主たる目的とする授業形態として、グループワークを中心とした演習形式の授業、いわゆるPBL (Project-Based Learning) を行う。そもそも美術・デザイン教育においては、具体的な問題や事例を取り上げ、解決に向けて学生がグループワークで主体的に考える、あるいは課題そのものを発見する試みが日常的に行われており、本学部においても、より社会的な課題の解決に主体的に取り組む姿勢や、解決のモデルのない問題に対して現実的な解決方法を粘り強く探求していく力を養成するために広く用いられる。映像学科は、クリエイティブイノベーション学科とともに入学定員を76名としているが、全学共通科目については領域ごとに選択し、学生はその科目に応じた定員の範囲内で希望する科目を履修する。一部、必修の講義科目では1学年で1クラスという科目もあるが、基本的には両学科ともレベルや内容に応じたクラス編成や6~10名程度のグループワーク等の授業で、少人数教育によるアクティブラーニングを中心としている。1、2年次においては、全学共通科目、造形構想基盤科目、専門基礎科目を中心に、幅広い分野と専門学修のための基礎的な実習・講義を配当し、3、4年次における専門領域別科目、専門総合科目へと段階的に専門化・応用化していくような演習・ゼミ科目を配当している。新入生に対して4月上旬に学部オリエンテーション及び履修ガイダンスを実施している。履修ガイドブックを配付した上、教育課程の編成、単位数の考え方、卒業要件等について説明している。シラバスについては、本学部で開設する全ての科目について作成の上、web上で公表している。シラバスには担当教員、時間割、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、予習・復習の内容と方法、成績評価方法等を記載している。シラバスの作成・公表は、学生が授業内容を十分認識した上で履修計画を策定することを可能とし、また学生の事前・事後学修の指針となっている。また、授業内容や学修方法、またシラバスに網羅されていない事項に関する相談に応じるため、全ての教員についてオフィスアワーを設定している。

5. 学生の受入れ

造形構想学部映像学科は、入学定員76名に対して748名の出願があり、入学者数80名となり、入学定員超過率は1.05倍となった。

6. 総括評価・所見

以上のように、造形構想学部映像学科は、既設学部学科と同様に設置の趣旨・目的の達成のため適正に履行していると考えている。令和3年度以降も、引き続き取組みを継続していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布するとともに、大学webサイトにて公開予定（令和5年4月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。